

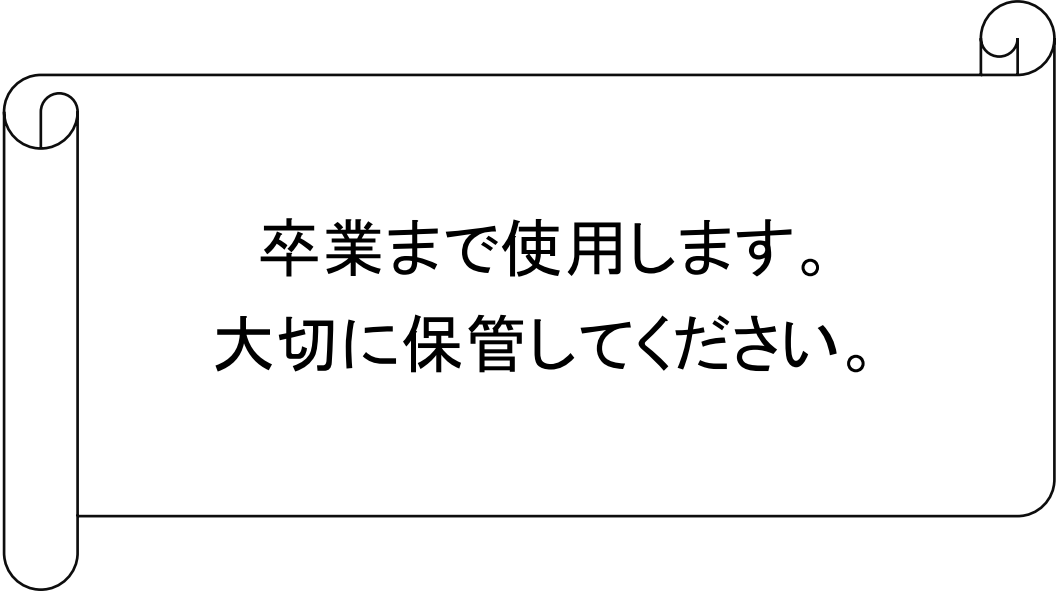
履修の手引き

令和 7 年度 入学生用

健康科学部 健康栄養学科

Nagoya Aoi University

名古屋葵大学



卒業まで使用します。
大切に保管してください。

目次

《共通編》

I. はじめに	3
II. 学生支援センターの場所	3
III. 授業について	4
1. 授業の開講形態	4
2. 授業時間割	4
3. 授業・試験時間	4
4. 授業科目の種類	4
5. 休講	5
6. 補講	6
7. 出席確認	6
8. 欠席・遅刻・早退	7
9. オフィスアワー	7
10. ポータルサイト	7
11. 合理的配慮	7
IV. 履修について	8
1. 単位制度	8
2. 卒業要件	8
3. 履修登録単位数の上限設定(CAP 制)	8
4. 履修登録と手順	10
5. 履修登録の留意点	11
6. 特別履修届の提出について	11
7. 免許・資格の申請、取り消しについて	11
8. 履修登録時のチェックシート	12
9. シラバスの見方	13
10. 教育課程	14
11. 『カリキュラムマップ』と『カリキュラムツリー』	14
12. 科目ナンバリングについて	15
13. 開放科目について	16
14. 単位互換制度	17
15. 海外留学	17
V. 試験について	18
1. 試験の種類と方法	18
2. 期末試験	18
3. 追試験	18
4. やむを得ない理由を証明する書類	18
5. 再試験	18
6. 追試験・再試験手続一覧	19
7. 受験資格	19
8. 受験時の諸注意(期末試験、追・再試験)	19
9. 追試験・再試験の手続きの流れ	21

VI.成績評価について.....	22
1. 成績の評価・単位の認定.....	22
2. 成績の通知.....	22
3. 成績の問い合わせ.....	22
4. GPAについて.....	22
VII. 規程.....	23
VIII. 教務関係の用語集.....	23

《学科編》

1. ディプロマポリシー(学位授与の方針).....	24
2. カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針).....	25
3. 教育課程.....	26
全学共通科目.....	26
健康栄養学科.....	27
(1)教育目的について.....	27
(2)授業科目について.....	27
(3)教育課程について.....	29
カリキュラムマップ、カリキュラムツリー.....	31
教育の基礎的理解に関する科目等.....	37
カリキュラムマップ、カリキュラムツリー.....	38
4. 免許・資格.....	40
(1)教員免許状.....	40
栄養教諭一種免許状.....	42
(2)管理栄養士.....	43
(3)食品衛生監視員および食品衛生管理者.....	46
履修モデル(管理栄養士国家試験受験資格取得).....	47

I. はじめに

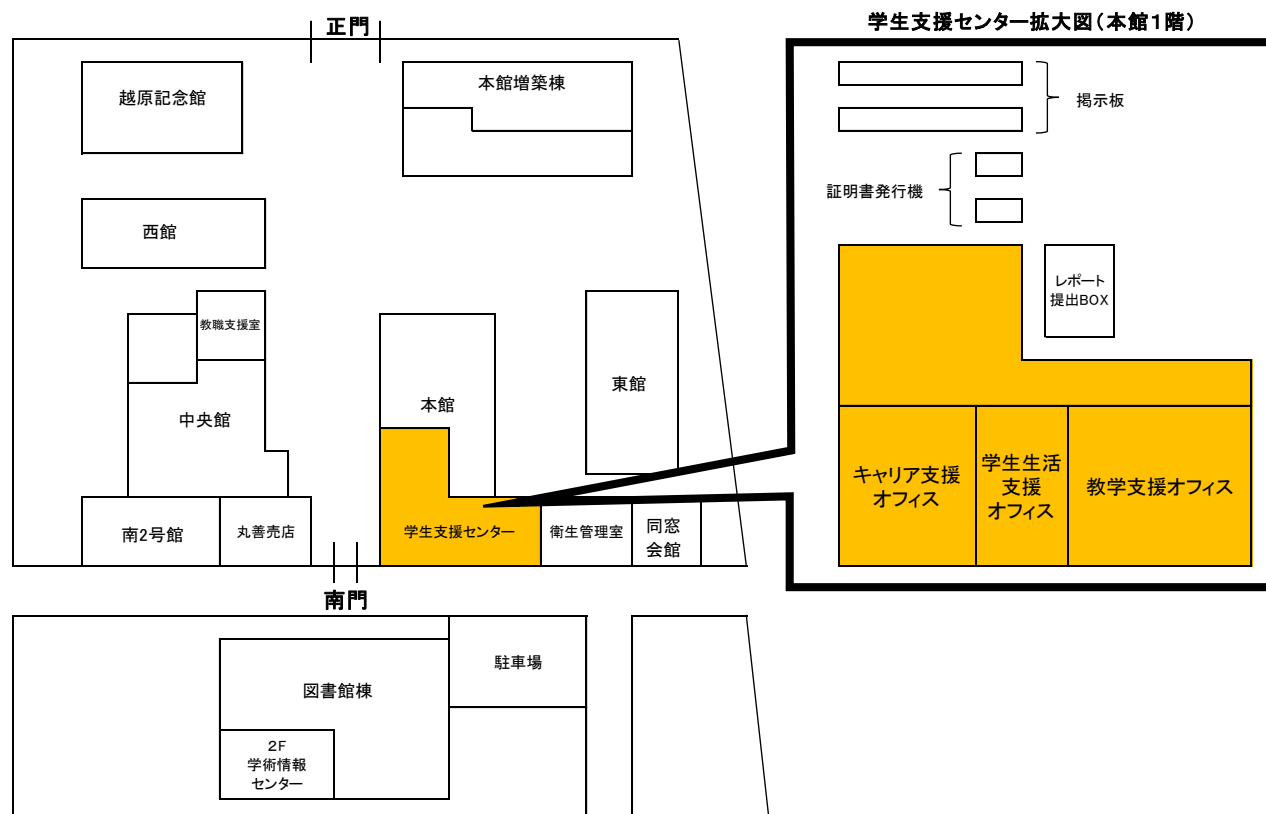
大学の勉学には、これまでの小学校、中学校、高等学校の勉学の仕方と、大きく異なる点があります。それは、何に対しても、指示を待つのではなく、自分から学ぼうとする姿勢を持たなければならないということです。その際に、この『履修の手引き』が大きな役割を果たします。

《共通編》は、授業・履修・試験などの説明です。大学では単位制が採用され、卒業に必要な単位数が決められています。単位を修得するためには「履修登録」をした上で、授業に出席しなければなりません。履修登録には期日が決められている上、履修計画を立ててから手続きをする必要があります。この手引きをよく読んで、提出期限に遅れたり、手続き方法を間違えたりしないよう十分注意してください。提出が遅れると授業が受けられません。そのほか、授業時間、試験や成績のことについても書かれていますので、必ず熟読してください。

《学科編》には、教育課程(カリキュラム)が掲載されています。どの授業科目を履修するかを決めるときは、「授業計画(シラバス)」とともに活用してください。免許や資格については、《学科編》の「4.免許・資格」で詳しく説明しています。

学生の皆さんは、この『履修の手引き』を卒業まで活用して、単位数が不足して卒業できないということのないように十分注意してください。また、不明点がある場合は、指導教員や学生支援センター・教学支援オフィスでたずねてください。

II. 学生支援センターの場所



III. 授業について

1. 授業の開講形態

本学で開講される授業の開講形態は次のとおりです。

- 1) 通年開講……………1 年間にわたって授業が行われます。
- 2) 半期開講……………原則として前期あるいは後期の半年間授業が行われます。
- 3) 集中講義……………上記の通年または半期開講科目が、教育上特別な理由があると認められる場合、あるいは特別の事情により毎週授業が行えない場合、夏期及び冬期の休業期間中またはその前後に短期間で集中的に授業が行われます。

2. 授業時間割

ポータルサイトで授業時間割の確認ができます。また、本館1階掲示板にも掲示します。(事情により授業時間割・教室を変更したときも、ポータルサイト(教務掲示一覧)と掲示板でお知らせします。)

授業等の日程は、学事カレンダーとしてポータルサイトと大学 Web サイトに掲載しています。

ポータルサイト: TOP (HOME) > 年間予定 > 学事カレンダー

大学 Web サイト: HOME > 在学生の方へ > 年間スケジュール

3. 授業・試験時間

本学の授業及び試験の時間は次のとおりです。

1・2 限	9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0
3・4 限	1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 1 0
5・6 限	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0
7・8 限	1 4 : 4 0 ~ 1 6 : 1 0
9・10 限	1 6 : 2 0 ~ 1 7 : 5 0

1・2・3 限	9 : 0 0 ~ 1 1 : 2 0
2・3・4 限	9 : 5 0 ~ 1 2 : 1 0
5・6・7 限	1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 2 0
7・8・9 限	1 4 : 4 0 ~ 1 7 : 0 0

大学の授業時間は、通常 45 分を「1 時間」の授業とみなし、「2 時間」(=90 分)の授業が基本となります。

4. 授業科目の種類

授業科目は、その内容、形態により講義、演習、実験・実習及び実技のいずれかの種類に分けられ、それぞれ

1 単位当たりの学修に必要な時間数(単位計算基準)が次のように定められています。

講義科目(1 単位に必要な授業時間数は 15 時間)

- 1 単位の場合 (毎週 2 時間の授業) × 8 回…半期科目
- 2 単位の場合 (毎週 2 時間の授業) × 15 回…半期科目
- 4 単位の場合 (毎週 2 時間の授業) × 30 回…通年科目

演習科目(1 単位に必要な授業時間数は 30 時間)

- 1 単位の場合 (毎週 2 時間の授業) × 15 回…半期科目
- 2 単位の場合 (毎週 2 時間の授業) × 30 回…通年科目

実験・実習・実技科目(1 単位に必要な授業時間数は 45 時間。ただし、全学共通科目<体育・健康科目>のスポーツ 1、2 に必要な授業時間数は 30 時間)

- 1 単位の場合 (毎週 3 時間の授業) × 15 回…半期科目
- 2 単位の場合 (毎週 3 時間の授業) × 30 回…通年科目

学科によっては一部の科目で上記とは異なる授業時間数が設定されている場合があります。

各科目の授業形態、単位数、授業時間数(週時間数)は、各学科の「教育課程」の表を参照してください。

5. 休講

本学の行事あるいは授業担当教員のやむを得ない理由により、授業を休講にすることがあります。

- 1) あらかじめわかっている休講は、本館 1 階掲示板に掲示およびポータルサイトから連絡します。
- 2) 休講掲示やポータルサイトからの連絡がなく、授業開始時刻から 30 分以上経過しても授業担当教員が現れない場合は、学生支援センター教学支援オフィスに連絡して、指示を受けてください。
- 3) 地震、台風等の災害や交通機関のストライキにより運行が中止された場合の授業、試験は次のとおり取り扱いします。

災害及び交通機関ストライキに係る発表・発令等		発表・発令等の時間	本学の講ずる措置
「南海トラフ地震臨時情報」の発表	「南海トラフ地震臨時情報（調査中・巨大地震注意・巨大地震警戒）」が発表された場合	発表された時刻	発表時点でそれ以降の授業は休講 授業再開などその後の対応は、大学 Web サイトやポータルサイトで案内します。
	「南海トラフ地震臨時情報（調査終了）」	午前 6 時現在 発表されている場合	平常通り授業
		午前 10 時現在 発表されている場合	午後から授業
「特別警報」または「暴風警報」の発令	名古屋市に発令された場合	午前 6 時現在 発令されている場合	午前中休講
		午前 10 時現在 発令されている場合	全日休講
避難指示（警戒レベル4）の発令	名古屋市瑞穂区汐路学区に発令された場合	午前 6 時現在 発令されている場合	午前中休講
		午前 10 時現在 発令されている場合	全日休講
交通ストライキ	名古屋市営の交通機関、名鉄、JR のいずれか一つの交通機関が交通ストライキを行った場合（その他の交通機関は平常通り授業、試験を実施する）	午前 6 時現在 ストが継続している場合	午前中休講
		午前 10 時現在 ストが継続している場合	全日休講
上記以外の場合において、授業、試験を実施することが困難であると予想されるときは、本学の防災本部、防災対策委員会の指示により休講措置等の判断を行います。			

次の場合は、上の表に準じて取り扱います。（授業、試験は実施されますが、出校できなかった場合は、学生支援センター教学支援オフィスで必要な手続きをすることにより欠席にはなりません。）

- ①名古屋市以外の居住者の居住区域、通学経路に「特別警報」または「暴風警報」が発令された場合
- ②名古屋市瑞穂区汐路学区以外の居住者の居住区域に避難指示(警戒レベル4)が発令された場合
- ③災害等により、交通機関が不通になった場合(計画運休含む)
- ④上の表以外の交通機関がストライキを行った場合

※上記①～④により受験できなかった期末試験科目については、学生支援センター教学支援オフィスで所定の手続きをすれば、追試験を受験できます。

6. 補講

休講により規定の授業時間数に満たない場合には補講が行われます。

補講は次のいずれかの方法で行います。

- 1) 指定された土曜日に実施します。補講日として指定された土曜日は、ポータルサイトの年間予定タブに掲載されている「学事カレンダー」で確認してください。
- 2) 授業期間中の空き時間に行います。
- 3) その他教員の指示がある場合には、それに従ってください。

補講の連絡は、本館 1 階掲示板に掲示し、ポータルサイトから連絡します。

※ポータルサイトを利用して、授業時間割確認及び休講・補講・教室変更情報等を参照できます。メッセージ転送設定をすると、登録されたアドレスに休講や補講等の情報が配信されます。使用方法是、「ポータルサイト操作マニュアル」を参照してください。

＜ポータルサイト操作マニュアルへのアクセス＞



ポータルサイト: TOP (HOME) > ポータルサイトの使い方

URL: https://gakusei.nagoya-aoi.ac.jp/portal/pdf/manyual/portal_manual.pdf

7. 出席確認

講義室の出入口付近に、出席管理システムと連携した学生証を利用した認証のためのカードリーダーが設置されています。カードリーダーが設置されている教室では、学生証をかざして出席の認証を行ってください。

出席管理システムでは、出席状況の確認や欠席届を提出することができます。随時、出席状況を確認し、登録内容に誤りがあった場合は、授業担当教員に申し出てください。

出席管理システムと学生証による認証方法については、以下のマニュアルを確認してください。

＜出席管理システムへのアクセス＞



ポータルサイト: TOP (HOME) > 学内リンク > 出席管理システム

URL: <https://attendance.cn-management.jp/asp/student/index.php>

＜出席管理システム操作マニュアルへのアクセス＞

ポータルサイト: TOP (HOME) > 学内リンク > 出席管理システムマニュアル

URL: [https://gakusei.nagoya-aoi.ac.jp/portal/pdf/manyual/Attendance_management_manual\(S\).pdf](https://gakusei.nagoya-aoi.ac.jp/portal/pdf/manyual/Attendance_management_manual(S).pdf)



＜出席管理システム(よくある質問)へのアクセス＞



ポータルサイト: TOP (HOME) > 学内リンク > 出席管理システム(よくある質問)

URL: [https://gakusei.nagoya-aoi.ac.jp/portal/pdf/manyual/Attendance_management_manual\(SQ&A\).pdf](https://gakusei.nagoya-aoi.ac.jp/portal/pdf/manyual/Attendance_management_manual(SQ&A).pdf)

- ◆ 学生証の認証による出席の確認は、授業開始 9 分前から可能です。
- ◆ 学生証を忘れた場合、または学生証の認証が正しくされなかった場合、授業開始前に授業担当教員に申し出てください。
- ◆ 学生証が登録されていない場合、カードリーダーにかざすと「登録がありません」とメッセージが流れます。
- ◆ 機器の不調や故障の場合は、学生支援センター教学支援オフィスに連絡してください。

8. 欠席・遅刻・早退

- 1) やむを得ない理由(試験欠席の理由に準ずる P.18 参照)で授業を欠席する場合は、「欠席届」を授業担当教員に提出してください。「欠席届」は、出席管理システムから提出できます。学生支援センター教学支援オフィスで配布している欠席届の用紙に記入して提出することもできます。
- 2) 授業の遅刻・早退に関する取り扱いは、次のとおりです。
 - ① 授業開始時間に遅れた者は、遅刻として取り扱います。
 - ② 授業終了まで受講していない者は、早退として取り扱います。
 - ③ 遅刻及び早退は、計 3 回をもって欠席 1 回とみなします。
 - ④ 1 回の授業時間の 3 分の 1 以上(講義・演習科目は 30 分以上、実験・実習科目は 45 分以上)の遅刻及び早退は欠席として取り扱います。

9. オフィスアワー

教員は学生からの様々な質問に応じるための時間「オフィスアワー」を設けています。オフィスアワーの時間帯には教員が研究室に在室し、授業内容やその他学修に関する様々な相談を受け付けています。各教員のオフィスアワーの設定時間は、教員によって異なりますので、「オフィスアワー一覧表」で確認してください。ポータルサイトの「オフィスアワー」からも確認できます。各教員の研究室の場所も記載されています。

＜オフィスアワー一覧表へのアクセス＞



ポータルサイト: TOP (HOME) > My 時間割 > オフィスアワー

URL: https://gakusei.nagoya-aoi.ac.jp/office_hour/office_hour.pdf

10. ポータルサイト

ポータルサイトとは、大学からのお知らせや履修登録、成績発表など、大学生活を送る上で必要な様々な機能が集約されたサイトです。手続きなどの重要なお知らせを見落とさないように気を付けてください。履修登録漏れ、試験などに係る申請不備による不利益はすべて自己責任となりますので、ポータルサイトからの配信はこまめに確認しましょう。

＜ポータルサイトへのアクセス＞



大学 Web サイト > 在校生の方へ > 学生ポータルサイト

URL: <https://portal.nagoya-aoi.ac.jp/campusweb/top.do>

＜ポータルサイト操作マニュアルへのアクセス＞

ポータルサイト: TOP (HOME) > ポータルサイトの使い方

URL: https://gakusei.nagoya-aoi.ac.jp/portal/pdf/manyual/portal_manual.pdf



11. 合理的配慮

授業の受講や試験時に障がいサポート(合理的配慮)を希望する場合は、衛生管理室に申し出てください。ただし、対応可能な配慮は科目により異なります。

IV. 履修について

1. 単位制度

大学の授業科目の履修には、大学設置基準に基づく単位制を採用しています。

- 1) 単位制とは、各年次に配当されている授業科目を履修して、その授業科目に定められている単位を修得(所定の試験に合格)し、これらの単位を一定数蓄積することにより卒業(あるいは各種免許・資格が取得)できる制度をいいます。
- 2) 単位とは、一つの授業科目の修得に必要な時間を示す基準であり、試験(筆記、レポート等)に合格することにより、その授業科目の単位の修得が認められます。1 単位を修得するには、授業時間と授業時間外に必要な学修等をあわせて 45 時間の学修時間を必要とします。

2. 卒業要件

大学を卒業するためには、4 年以上在学し、学科ごとに定める教育課程に従って授業科目を履修し、下表に示す所定の単位数以上を修得しなければなりません。

卒業に必要な単位数 ※括弧内の数字は、必修科目の単位数(内数)

【健康科学部】

学科	全学共通科目	健康科学部 共通科目	学科 専門科目	自由 選択科目	合計
健康栄養学科	18(7) 以上	76(51) 以上		30 以上	124(58) 以上
看護学科	13(9) 以上	112(110) 以上		—	125(119) 以上

自由選択科目

科目区分の制限はありません。各科目区分で定められた卒業に必要な単位数を超えて修得した単位数で充足されます。

単位互換科目

単位互換制度を利用して取得した単位は、「自由選択科目」に算入されます。詳しくは、P.17「14.単位互換制度」を確認してください。

3. 履修登録単位数の上限設定(CAP 制)

各学期・年間の履修登録をする際に、履修登録単位数の上限を設定しています。履修登録単位数の上限を設定することを CAP 制といいます。

履修登録単位数の上限設定により、多くの科目を広く浅く学修するのではなく、学修すべき授業の単位制度が実質化(1 単位を修得するにあたって必要な学修時間 45 時間を確保)され、各年次にわたって適切に授業科目を履修でき、授業内容を深く身に付けられるようになります。

1) 全学部学科で上限単位数から除外する科目等

- ①入学前の既修得単位、大学・短大以外の教育施設等における学修により単位認定された科目
- ②全学共通科目:「建学のこころ」

- 2) 集中講義科目、愛知学長懇話会における単位互換科目及び名古屋女子大学短期大学部単位互換科目は当該開講学期に含めます。
- 3) 学長が特に必要と認めた学生は、上限単位数を超えて履修登録を認めることがあります。この場合の単位数は教授会で決定します。
- 4) 通年開講科目の単位は、前期・後期に等分して、各学期に配分します。
- なお、年間で上限単位を定めている場合の、前期、後期ごとの履修登録単位数の配分については弾力的に扱います。学科の履修指導に従ってください。

学部	学科	履修登録の上限単位数								その他上限単位数から除外する科目
		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
健康科学部	健康栄養学科	49		48		48		48		「国際健康栄養演習(海外研修)」、 教育の基礎的理解に関する科目等
	看護学科	48		49		48		48		

4. 履修登録と手順

具体的な日程は、オリエンテーションで配布する「Web 履修登録日程表」を参照してください。

オリエンテーション

- ・新入生オリエンテーション、在学生オリエンテーションで履修登録の説明を聞きます。

履修計画

- ・「履修の手引き」や「シラバス」、「時間割表」を参照し、必修科目や資格取得に必要な科目を確認して、1年間の履修計画を立てます。
- ・1年間に履修できる単位数には上限があります。(履修の手引きP.9参照)
- ・科目によって、履修するための条件(前提科目)があります。そのため、資格取得に必要な専門科目を全て履修してから、全学共通科目の履修を計画しましょう。

Web履修登録

- ・履修計画をもとに、ポータルサイトで履修登録を行います。前期に後期科目の履修登録も行います。
- ・ポータルサイトで履修登録できない科目は、学生支援センター教学支援オフィスにある「特別履修届」に記入し、指導教員の確認を受けて提出します。
- ・履修登録期間は、受講する科目を検討する期間です。履修予定科目には初回の授業から出席してください。
- ・後期の履修登録期間は、後期科目のみ追加・削除が可能です。

資格申請

- ・取得を希望する免許・資格を申請します。
- ・資格申請をすることで、卒業学年時に資格取得見込判定の確認ができます。

一次抽選

- ・履修者数に定員のある科目では抽選により履修者を決めます。
- ・抽選科目の履修を希望する場合は、一次抽選日までに履修登録を行い、抽選結果を必ず確認してください。抽選結果が決まる前の授業にも出席してください。
- ・後期は、履修者数に余裕がある抽選科目の追加登録(先着順)が可能です。(後期は抽選を行いません。)
- ・教科書は返品ができないので、当選してから購入してください。

二次抽選

- ・履修者数に余裕がある科目の二次抽選に申し込むことができます。

履修確認

- ・履修計画とWeb履修登録した科目が合っているか、履修登録漏れがないか確認します。
- ・履修登録の修正が必要な場合は、「履修登録修正願」に記入し、指導教員の確認を受けて、学生支援センター教学支援オフィスへ提出します。

履修登録科目の確定

- ・履修登録が確定します。

5. 履修登録の留意点

- 1) 「履修の手引き」で卒業要件、各種免許・資格に必要な科目、単位を確認して、「授業計画(シラバス)」を熟読して1年間の履修計画を立ててください。

(注)履修登録確定後に授業科目の受講を放棄した場合は、GPAに影響しますので注意してください。

- 2) 授業時間割で履修する科目の曜日・時限を確認し、履修登録しようとする科目が重複しないように注意してください。
- 3) 登録ミス、登録漏れのないように注意してください。
- 4) 定員が設定されている抽選科目は、抽選後に必ずポータルサイトで受講可能か確認してください。
- 5) 履修登録確定後の授業科目の追加・変更及び放棄は原則として認められません。
- 6) 履修者が少ない授業科目は、不開講となることがあります。
- 7) 授業科目については、履修できる学年(配当学年)が決まっています。下級学年に配当されている授業科目は履修できますが、上級学年に配当されている授業科目は履修できません。なお、配当学年において、卒業必修科目を修得できなかった場合、次年度以降の該当科目の履修登録については、学生支援センター教学支援オフィスでの手続きが必要となります。

6. 特別履修届の提出について

以下に該当する場合は、「特別履修届」を学生支援センター教学支援オフィスへ提出する必要があります。

「特別履修届」は、学生支援センター教学支援オフィスにあります。

- 1) 全学共通科目[必修科目]を他学科で下級履修する場合
- 2) 全学共通科目[外国語科目]を他学科で履修(あるいは下級履修)する場合
- 3) 専門科目を他クラスで履修(あるいは下級履修)する場合
- 4) 読替を要する科目を履修する場合

7. 免許・資格の申請、取り消しについて

免許・資格申請の登録は、履修登録期間中にポータルサイトの「資格申請・取消」から必ず行ってください。

また、卒業学年の後期履修登録期間に登録済の免許・資格を取り消す場合は、「免許・資格申請書」を提出してください。申請書は、学生支援センター教学支援オフィスにあります。

8. 履修登録時のチェックシート

履修登録および資格申請の追加・削除は、履修登録期間以外は原則認められません。そのため、履修登録時は、下のチェックシートを活用して、慎重に手続きを行ってください。

項目	内容	チェック欄			
		1年次	2年次	3年次	4年次
		前期 後期	前期 後期	前期 後期	前期 後期
① 履修計画	現在の単位修得状況、卒業要件、資格要件を確認して、1年間の履修計画を立てましたか？（後期では、前期成績を確認して計画の見直しをしましたか？） ※履修できる単位数には上限があります。（P.9 参照）	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
② 履修登録、 免許・資格申請	専門科目の選択科目は登録しましたか？	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	集中講義（実習関連・卒業研究などを含む）は登録しましたか？ ※特に、後期の集中講義科目は履修登録忘れが起きやすいです。	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	全学共通科目および教職科目は登録しましたか？	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	希望する免許・資格の申請登録はしましたか？	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	【該当者のみ】進級・卒業および資格取得の見込判定結果を確認しましたか？ ※判定が「可」にならないと、見込証明書の発行はできません。	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	【該当者のみ】前年度単位修得できなかった科目など、Web 履修登録ができなかった科目は、学生支援センター教学支援オフィスで申請しましたか？	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
③ 申請内容確認	Web 履修登録完了後、ポータルサイトに「履修登録受付完了」メッセージが届きましたか？	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	抽選科目の結果（当落）を確認しましたか？	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	履修登録修正期間に、ポータルサイトの「My 時間割」で申請内容が反映されているか確認しましたか？	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓
	【該当者のみ】履修登録修正期間に「履修登録修正願」を提出した場合、後日「My 時間割」に申請内容が反映されていることを確認しましたか？	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓	✓ ✓

9. シラバスの見方

シラバスはポータルサイトからアクセスできます。授業を選択する時には、シラバスを熟読してください。

シラバス参照

[更新履歴画面へ戻る](#)

[お気に入り追加する](#)

科目名	建学のこころ
講義コード	
担当者	越原 もゆる
学年	1年
対象学科・専攻	
クラス	
単位数	1
開講時期	前期
授業形態	講義
備考	

基本情報

科目名、授業担当教員、学年、対象学科、単位数、開講時期など

授業の目的と概要

科目ナンバリングと授業の教育目標を確認できます。

授業の到達目標

授業終了時に身に付く能力、何ができるようになるかを確認できます。またディプロマポリシーとの関連を確認できます。

授業計画

各回の授業内容を確認できます。授業担当者が複数人の場合、授業回ごとの担当教員が記載されています。

学修上の留意事項

授業を履修する上で必要な取り組みと、条件(前提科目)を確認できます。

授業外学修の指示

授業以外に必要な予習・復習の学修内容と時間が記載されています。

成績評価基準

成績評価の基準と割合が記載されています。

テキストと参考図書

・テキスト：
授業で使用する教科書です。購入してください。

・参考図書：
授業に関連する参考資料です。図書館に所蔵されています。

授業の目的と概要	UAO 0 00 L 1 01 Z (1) 本学創設者の生家に隣接する越原学舎で学ぶことにより、学園訓「親切」の意義と「建学の精神」を理解し、本学の教育理念・目的について認識を深める。 (2) 共同生活を直して自己啓発するとともに、豊かな感性と柔軟な思考力を養い、4年間の学修の目標を立て、その設計を確かなものとする。
授業の到達目標	【DP1】 本学創立の歴史や時代背景を理解し、学園訓「親切」の意味を深く考え、創立者の現代社会を生きる学生へのメッセージを掴み取ることができる。 【DP2】 共同生活を直して自己啓発に努め、豊かな感性と柔軟な思考力を養い、大学4年間の学修の目標を立てることができる。 【DP3】 主体的に自分の役割を果たすとともに、多様な価値観を持つ他の学生と協働することができる。
授業計画概要	岐阜県東白川村で越原(おっばら)学舎研修を行います。
授業計画	第1回 越原学舎研修のオリエンテーション
学修上の留意事項	・「建学のこころ」は、新入生オリエンテーションから始まる。 ・越原記念館巡覧や越原(おっばら)研修への準備段階でも主体的な参加が望まれる。 ・越原学舎では共同生活を楽しく進めるとともに、自己規律の育成に努めること。
授業外学修の指示	・越原学舎研修の前に、「美濃少女」、「もえのぼる」、「建学のこころ(越原研修のしおり)」等を熟読しておくこと。 ・1回の授業につき270分を基準として学修すること。
学修eポートフォリオ	学修eポートフォリオおよび教職「履修カルテ」の対象科目ではありません。
成績評価基準	【DP1】については、レポートの内容から評価する(20%)。 【DP2】については、レポートの内容から評価する(40%)。 【DP3】については、越原学舎研修準備ならびに研修時の主体性、協働性から評価する(40%)。 レポートは採点后、返却する。 各々の評価は総合的学習評価ルーブリックに基づいて行い、合計100%を満点としてS,A,B,C,D評価は大学の基準による。
テキスト	
テキスト(自由入力)	越原春子日誌「美濃少女」(みものおとめ)、越原一郎(編) 学校法人越原学園 越原春子伝「もえのぼる」 南部 弘(著) 学校法人越原学園 「大学で学ぶということ」 名古屋英大
参考資料ファイル	建学のこころ成績評価基準.pdf
担当者の実務経験	なし
参考図書	

[更新履歴画面へ戻る](#)

[印刷](#)

10. 教育課程

教育課程(カリキュラム)は、全学共通科目と学部・学科共通科目、学科専門科目等に分けて編成されており、それぞれに修得しなければならない最低単位数が定められています。また、各授業科目の区分には必修科目と選択科目および選択必修科目があり、体系的に修得できるように各年次に配当されています。授業科目を選択する場合は、系統図(カリキュラムツリー)をよく見て考えてください。例えば、科目間の矢印や、1 や 2 と番号が振られている科目を 2 から先に選択すること、また、講義の前に演習や実習を選択することは避けてください。

必修科目

教育課程のうち、必ず単位を修得しなければならない科目

選択科目

教育課程のうち、自由に選択して単位を修得することができる科目

選択必修科目

教育課程のうち、特定の科目の中から一定の単位を必ず修得しなければならない科目

- 上記のほか各種免許・資格に関する授業科目が開設されています。これらは、卒業の要件に含まれない科目もありますが、いずれもその免許・資格を取得する上で必要な科目です。

11. 『カリキュラムマップ』と『カリキュラムツリー』

カリキュラムマップとカリキュラムツリーは、身に付けてほしい知識・能力と授業科目との対応関係を体系的にわかりやすく示したものです。詳しくは《学科編》で確認してください。

カリキュラムマップ

ディプロマポリシー(学位授与の方針)と授業科目の関係を示したものです。

卒業時に学科のディプロマポリシーの達成目標に到達するため、授業科目と学修成果の関係を説明しています。授業科目によって育成する能力が異なるため、伸ばしたい能力など必要に応じて科目選択の参考にしてください。

カリキュラムツリー

到達目標を達成するために、授業科目間の系統性や関連性、配当年次を示しています。

履修の際には、左側にある科目から履修することが前提となりますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。

12. 科目ナンバリングについて

科目ナンバリングは、学修の段階や順序等を英数字で表示することにより、教育課程の体系をわかりやすくし、履修登録時の目安とするために設定しています。科目ナンバリングのコードは、以下の構成となっています。

例)大学全学共通科目「日本国憲法」の場合

UA0 0 32 L 2 06 L - N2N3T1T3T4T5T6T7
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

①と②の間の「0」は予備コードです。

①学部・学科コード

学部・学科	コード	学部・学科	コード	学部・学科	コード
大学全学共通科目	UA0	健康科学部学科間共通科目	HB0	医療科学部学科間共通科目	MB0
生活環境学部生活環境学科	EE0	健康科学部健康栄養学科	HH0	医療科学部理学療法学科	MP0
生活環境学部教職課程	ET0	健康科学部看護学科	HN0	医療科学部作業療法学科	MO0
		健康科学部教職課程	HT0	児童教育学部児童教育学科	CC0

②分野コード(数字 2 文字)

図書館の分類表と同じ分類(日本十進分類法の 2 次区分表)を使用し、科目の分野を表現しています。

③授業形態

授業形態	コード	授業形態	コード	授業形態	コード	授業形態	コード	授業形態	コード
講義	L	演習	E	実験	M	実習	T	実技	P

④科目分類(数字またはアルファベット 1 文字)

各学科の教育課程の科目分類ごとに区分しています。全学共通科目は数字 1 文字、専門科目はアルファベット 1 文字です。

⑤授業識別番号(数字 2 文字)

科目分類と合わせて、授業を識別するための個別コードです。

⑥レベル

レベル	コード	レベル	コード	レベル	コード	レベル	コード
基礎的な内容	L	発展的な内容	M	卒論・実習系	H	その他	Z

⑦資格コード

資格取得に関係する科目には、資格コードが付与されています。

資格名称	コード	資格名称	コード	資格名称	コード
一級建築士受験資格	A1	保育士	H1	幼稚園教諭一種免許状	T1
二級建築士・インテリアプランナー受験資格	A2	秘書士	S1	幼稚園教諭二種免許状	T2
テキスタイルアドバイザー	C1	医療秘書実務士	S2	小学校教諭一種免許状	T3
フォーマルスペシャリストブロンズライセンス	C2	情報処理士	J1	中学校教諭一種免許状(国語)	T4
ドレメ式教員認定	C3	上級情報処理士	J2	中学校教諭一種免許状(家庭)	T5
栄養士免許証	E1	ビジネス実務士	J3	高等学校教諭一種免許状(家庭)	T6
管理栄養士国家試験受験資格	E2	上級ビジネス実務士	J4	栄養教諭一種免許状	T7
食品衛生監視員及び管理者任用資格	E3	看護師国家試験受験資格	N1	理学療法士国家試験受験資格	R1
フードコーディネーター	F1	保健師国家試験受験資格	N2	作業療法士国家試験受験資格	R2
フードスペシャリスト	F2	養護教諭二種免許状	N3		

13. 開放科目について

開放科目とは、資格の専門性をより高めるために、他学部・他学科の専門科目を開放し、資格に活かせる知識が取得できるよう、履修および単位修得可能にした科目です。

開放科目は以下のとおりです。

開講学科	授業科目	学年	開講期	形態	単位数
生活環境学科	調理学	1	前期	講義	2
	被服構成学	1	後期	講義	2
	住居管理学	3	前期	講義	2
理学療法学科	地域理学療法学	2	前期	講義	2
	理学療法治療学特論Ⅰ(健康増進・予防)	2	後期	講義	1
	理学療法治療学特論Ⅳ(脳機能)	3	前期	講義	1
理学療法学科 作業療法学科	解剖学Ⅰ	1	前期	講義	2
	生理学Ⅰ	1	前期	講義	2
	リハビリテーション概論	1	後期	講義	1
児童教育学科	コミュニケーション論	1	後期	講義	2
	日本文化概論	1	前期	講義	2

※上記科目の上級履修はできません。また、時間割編成の配慮はしません。開講期は変更になる可能性があります。

開講時期、時間割はポータルサイトの時間割で確認してください。対象科目には【開放】と記載されています。履修条件および手続きは以下のとおりです。

<対象学生>

1年生後期以降の学生(在学2年以上の場合は、前期から履修可能。)

<履修制限>

- 1)直前学期のGPAが2.0以上
- 2)履修上限単位数に含まれます。(「自由選択科目」のない学科を除く)

<修得単位>

修得した単位は、「自由選択科目」に算入されます。また、成績評価はGPAの算出対象となります。(「自由選択科目」がない学科は、卒業要件単位には含まれませんが、履修は可能です。)

<手続き方法等>

上記科目の履修を希望する場合は、履修希望科目の開講期の履修登録期間に、「開放科目履修願」に記入して、学生支援センター教学支援オフィスへ提出してください。

<履修の可否>

手続き後、所属学科の確認と開放科目を開講している学部の教授会で審議されます。審議結果は、指導教員から前期5月下旬、後期10月下旬に連絡があります。(審議結果の連絡があるまで、授業は出席してください。)

14. 単位互換制度

単位互換制度とは大学間の協定に基づき、他の大学または短期大学で履修し修得した単位を在籍する大学の履修で修得したものとみなす制度です。本学では、「名古屋葵大学と名古屋女子大学短期大学部の単位互換に関する協定」並びに、愛知学長懇話会に加盟する大学・短期大学において締結された「単位互換に関する包括協定」に基づく制度があります。

1) 名古屋女子大学短期大学部との単位互換制度

名古屋女子大学短期大学部の一部授業科目について履修及び単位修得が可能です。下記の内容を十分に理解して手続きをしてください。

①名古屋女子大学短期大学部 単位互換科目一覧

授業科目	授業形態	単位数
簿記演習 3	演習	1

②履修時期

1 年生後期

③単位数の算入

上記単位互換科目は、卒業要件の一覧表の自由選択科目の単位数として算入されます。

④履修登録について

上記科目を履修する際は、「単位互換科目履修願」を学生支援センター教学支援オフィスへ提出する必要があります。手続き期限は以下のとおりです。

前期科目：4 月第 2 木曜日まで

後期科目：9 月第 2 木曜日まで

2) 愛知学長懇話会の単位互換制度

他大学の単位互換向けに開放される科目の履修及び単位修得が可能です。詳しくは、本館 1 階掲示板と愛知学長懇話会ホームページを確認して手続きしてください。

URL: <https://aichi-gakuchou.jimu.nagoya-u.ac.jp/>

15. 海外留学

留学先で修得した授業科目の単位は 60 単位を上限として、本学で修得した単位として認められます。単位の認定を希望する場合は、留学前に学科の先生に相談して指導を受けてください。

海外留学については、学生生活の手引き「翔」または、大学 Web サイトの「留学制度・奨学金制度」を参照してください。海外交流室または学生支援センター学生生活支援オフィスに相談することもできます。

<留学制度・奨学金制度へのアクセス>



大学 Web サイト>在校生の方へ>留学制度・奨学金制度

URL: <https://www.nagoya-aoi.ac.jp/students/ryugaku.php>

V. 試験について

1. 試験の種類と方法

試験の種類には、「期末試験」「追試験」及び「再試験」があります。

試験は、「筆記」「レポート」「論文」「作品」「実技・実習」等の方法で実施されます。

2. 期末試験

1) 期末試験は、前期末に行うものを前期試験、後期末に行うものを後期試験といいます。

2) 期末試験は、前期開講科目については前期試験において、後期及び通年開講科目については後期試験において実施します。

3. 追試験

1) 追試験は、次の授業科目について、やむを得ない理由で試験を欠席した者に対し、本学が指定する日に行います。

① 試験時間割に掲載された筆記試験を実施した授業科目

② 期末試験に代えて授業担当教員が随時に行う試験で、事前に学生支援センターに追試験期間中に実施する旨の申し出があった授業科目

2) レポート、作品等の方法で試験を実施した授業科目は追試験を実施しません。

3) 追試験を欠席した者に対し、再度追試験は実施しません。

4) 追試験の受験は、欠席理由が「4. やむを得ない理由を証明する書類」の項目に記載されている欠席理由のいずれかに該当し、当該理由を証明するに足る書類の提出が必要です。①から⑦は願い出の受理により追試験の受験が認められますが、⑧は教授会および学長が許可した場合に受験が認められます。

4. やむを得ない理由を証明する書類

欠席理由		提出書類
①	親族の危篤、死亡	理由を証明する書類または写し
②	不慮の事故または災害	事故等を証明する書類
③	病気または負傷	医療機関発行の診断書
④	公共交通機関の事故または遅延	事故又は遅延証明書
⑤	学則第 14 条に定める資格を取得するために必要な校外実習	証明書不要
⑥	就職試験(会社訪問は除く)の受験	本学所定の受験証明書
⑦	期末試験受験科目の実施日時の重複	本学所定の試験重複届
⑧	その他①から⑦に準ずるものとして学長が認めたもの	理由を証明する書類

5. 再試験

1) 再試験は、学生が期末試験を受験し、不合格となった授業科目について、前期開講科目は前期の再試験期間内において、後期および通年開講科目については後期の再試験期間内において実施します。

再試験期間は、学事カレンダーで確認できます。なお、試験に代えた授業レポート、作品等の方法で試験を受験し不合格となった授業科目も再試験を実施する場合があります。

2) 再試験を受験するためには、所定の手続きが必要です。

- 3) 再試験を欠席した者に対して、その追試験は実施しません。また、追試験で不合格となった者に対して再試験は実施しません。ただし、卒業年次の学生で、追試験と再試験において、不合格となった授業科目が、必修科目及び免許・資格(教員免許状・栄養士免許証・保育士資格・管理栄養士国家試験、看護師国家試験、保健師国家試験、理学療法士国家試験、作業療法士国家試験の受験資格)の取得要件科目の場合は、前期・後期ともに1科目に限り再試験を実施することがあります。
- 4) 校外実習(教育実習・臨地実習など)が不合格となった場合の再試験は実施しません。

6. 追試験・再試験手続一覧

	追試験		再試験	追試験・再試験で 不合格科目の再試験 (4年生のみ)
	欠席理由①～⑦	欠席理由 ⑧		
提出書類	試験欠席届＋証明書類＋追試験申込書		再試験申込書＋ 再試験願出書	再試験申込書＋ 再試験願出書
提出期限	指定された期日 (詳細日程は別途連絡)	所定の期間内 (詳細日程は別途連絡) 追試験申込書は 受験許可後に提出	所定の期間内 (詳細日程は別途連絡)	所定の期間内 (詳細日程は別途連絡)
出願科目数	上限なし		上限なし	前・後期それぞれ 1科目
提出先	学生支援センター・教学支援オフィス			
受験手数料	1科目につき 1,000 円 (期末試験科目重複や校外実習による追試験は不要)		1科目につき 2,000 円	1科目につき 2,000 円

7. 受験資格

次のいずれかに該当する場合は、受験資格がありません。

- 履修登録をしていない授業科目。
- 当該授業科目の規定授業時間数(半期8回、15回、通年30回)の3分の2以上出席していない者。
- 学生証を所持していない者。
- 試験開始後15分以上遅刻した者。
- その他、教授会において受験資格がないと認められた場合。

8. 受験時の諸注意(期末試験、追・再試験)

次の受験時の諸注意は必ず守ってください。

<受験態度>

受験の際は、終始公正な態度を保ち、少しでも他から疑念をいだかれるような行為をしない。まぎらわしい行為は不正行為とみなされる場合がある。

<監督者の指示の遵守>

試験室においては、常に監督者の指示に従う。
指示に従わなかった場合は、退室を命じられる。

<学生証の提示>

受験生は、監督者が学生証を確認しやすいように、机上に置く。もし学生証を忘れた場合は、学生支援センターにおいて仮学生証の交付を受ける。

ただし、仮学生証の有効期限は交付日のみとする。なお、交付のつど手数料 1,000 円が必要となる。
また、学生証を紛失した場合、願い出れば当日中に再発行される。(手数料 1,000 円が必要)

<不正行為>

受験の際、万一不正行為があった場合、不正行為者の当該試験科目の評価は失格となる。また、不正行為のあった学期において既に実施済の科目および残された科目もすべて失格となる。

不正行為者は、学則第 46 条の規定により懲戒処分となり、その氏名および処分内容を学内に公表される。また、本人および保証人はその通知を受ける。

<所持品の扱い>

試験中は学生証、筆記用具(特に指示のない限り、鉛筆・シャープペンシル・消しゴムのみ)、監督者が許可したもの以外は机上に置かない。その他の手荷物も机の中に入れないで、足元に置く。

携帯電話等は試験室に入る前に電源を切っておく。また、これらを時計として使用することはできない。

<参照許可物件>

問題用紙に参照許可物件(テキスト、ノート、辞書等)が明示されている場合のみ、参照が許可される。

<遅刻>

遅刻は試験開始後 15 分までは認められる。ただし、遅刻して受験した試験の時間延長は認められない。
なお、遅刻により受験できなかった科目は欠席となる。

<退室>

試験開始後 30 分を経なければ退室できない。途中退室する際は、答案を試験監督者に提出し静かに退室する。

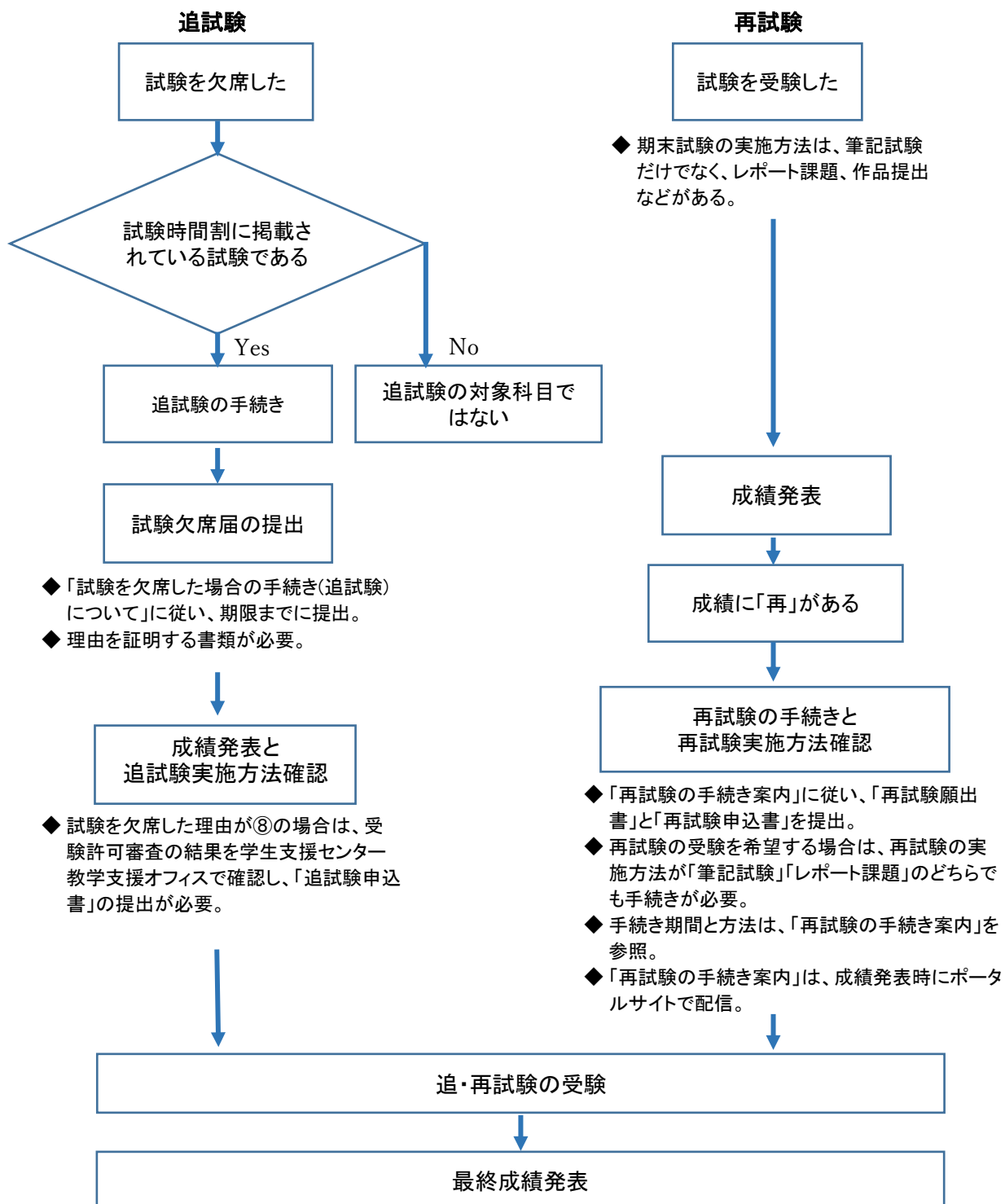
<再入室の禁止>

いかなる場合でも、試験室からいったん退室したら再入室は認められない。

<答案用紙>

答案用紙は配付または指定されたものを使用し、書き損じたものや、白紙のものも提出する。

9. 追試験・再試験の手続きの流れ



◆卒業学年に限り、追再試の再試(前後期各1科目:必修科目及び免許・資格(教員免許状・栄養士免許証・保育士資格・管理栄養士国家試験、看護師国家試験、保健師国家試験、理学療法士国家試験、作業療法士国家試験の受験資格)の取得要件科目に限る)を実施する場合がある。最終成績発表日に手続きが必要。

◆「試験規程」は、ポータルサイトの学内リンクタブの「規程一覧」を参照。

VI. 成績評価について

1. 成績の評価・単位の認定

授業科目の成績評価は、試験成績と平常成績を総合して判定し、S, A, B, C, 不とし、C 以上を合格として当該授業科目の単位を認定します。なお、100 点満点に換算した点数の評価基準は、次のとおりとします。

ただし、当該学期学費未納者については、学費完納まで単位認定を保留します。

成績評価基準

合 格	100 点～90 点	S
	89 点～80 点	A
	79 点～70 点	B
	69 点～60 点	C
不合格	60 点未満	不
不合格 (再試験)	60 点未満	再

学生が期末筆記試験を欠席し、追試験の手続きをした場合

(追試験)

合 格	100 点～90 点	S
	89 点～80 点	A
	79 点～70 点	B
	69 点～60 点	C
不合格	60 点未満	不
欠 席		不

(再試験)

合 格	60 点以上	C
不合格	60 点未満	不
欠 席		不

単位
認定

単位
不認定



※卒業年次学生を対象とする

→再試験

→追試験

失 格	失
-----	---

—— 受験資格喪失(原則として規定授業時間数の 2/3 以上出席していない者)

認定単位	認
------	---

—— 他の大学等において修得した単位、編入学生等の認定単位

2. 成績の通知

期末試験及び追・再試験の結果は、各学期の成績発表日にポータルサイトの成績照会で各自確認してください。既修得単位科目の成績(成績の累算)も成績照会で確認できます。

3. 成績の問い合わせ

成績についての質問がある場合は、成績発表後 3 日以内(土・日・祝日除く)に学生支援センター・教学支援オフィスに申し出て、「成績評価についての質問」に質問事項を記入し提出してください。

4. GPAについて

GPAとは、Grade Point Average(グレード・ポイント・アベレージ)の略で、履修登録科目の評価等に対して、それぞれにGPを与え、獲得したポイント(GP×単位数)の合計を履修登録した総単位数で除した 1 単位あたりの成績平均値のことです。GPAを知ることで、学業成績の状況を的確に判断し、自らの学修に対して主体的に自己評価することができ、その後の履修計画が適切に立てられます。

本学では、GPAを主に次の目的に利用するために導入しています。

- 1) 履修科目の安易な登録と、途中放棄の防止
- 2) GPA評価平均が下位 25%の学生に対する修学支援
- 3) 奨学金授与等における判定基準
- 4) 就職活動等における推薦者の選抜基準
- 5) 成績上位者の表彰の選抜基準
- 6) 退学勧告を行う判定基準

<GP(グレード・ポイント)>

最終成績評価(S:4、A:3、B:2、C:1、不認定:0、失格:0、認定:ー)

<不合格科目等の取り扱い>

成績評価が不合格の科目、失格となった科目のGPはすべて「0」としてGPAの算出対象となります。「認」は、GPAの算出対象外になります。

<GPAの算出式>

各科目の成績評価を成績値(GP)に換算し、科目の単位数を掛けて、合計単位数を当該期で履修登録した科目の総単位数で割ったものがGPAとなります。

$$\text{GPA} = \frac{(4 \times \text{Sの修得単位数}) + (3 \times \text{Aの修得単位数}) + (2 \times \text{Bの修得単位数}) + (1 \times \text{Cの修得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

VII. 規程

学則や各種規程は、ポータルサイトに掲載しています。

<規程一覧へのアクセス>



ポータルサイト: TOP(HOME) > 学内リンク > 規程一覧

URL: <https://gakusei.nagoya-aoi.ac.jp/kitei/kitei-index.htm>

VIII. 教務関係の用語集

<教務関係用語集へのアクセス>



ポータルサイト: TOP(HOME) > 学内リンク > 教務関係の用語集

URL: https://gakusei.nagoya-aoi.ac.jp/portal/pdf/rishuyoko/kyomu_yogo.pdf

健康科学部

1. ディプロマポリシー(学位授与の方針)

健康科学部

健康科学部のディプロマポリシーは、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体性・多様性・協働性」の3つのカテゴリーで構成されています。学位授与の規定では、2学科が定める所定の単位を修得し、学士力、専門職能を身に付けた専門的職業人としての使命感や責任感が持てる人であることが重要となります。さらに、多世代にわたる対人関係力を身に付け、社会の一員として適切な行動ができている者に学位を授与します。

健康栄養学科

本学科所定のカリキュラムを終了するとともに、以下の資質を身に付けた学生に卒業を認定し、学士(健康栄養学)の学位を授与します。

- 1) 知識・技能:食物学や栄養学を中心に幅広く学修し、管理栄養士に必要な基礎知識と応用力を身に付けていること。
 - (1) 食物や栄養、病態について科学的根拠に基づく正しい知識・技能を修得し、さまざまな対象者に応じて適切な栄養管理、栄養教育を行うことができる。
 - (2) 栄養バランスの重要性とともに食べるタイミングと健康との関連について理解し、多様化するライフスタイルに応じた食支援ができる。
- 2) 思考・判断・表現:食物や栄養に関する事柄について、問題点を把握し解決するための思考力と判断力を身に付け、さまざまな対象者の意見を聞き、それに対する自分の考えや知識を正確に伝えることができる表現力があること。
 - (1) 対象者の身体状況を正確に把握し、適切な栄養管理、栄養教育のプランを立案できる。
 - (2) 対象者から情報を引き出すとともに適切なアドバイスを分かりやすく伝えるコミュニケーション能力を身に付けている。
- 3) 主体性・多様性・協働性:管理栄養士養成課程での学修を基に、常に研鑽を積み、新たな問題や課題に対して積極的に取り組み、責任ある行動や言動ができること。
 - (1) 複雑化した健康問題に対して、多様な角度から情報を収集・分析し、自ら行動して問題を解決しようとする実行力を持っている。
 - (2) 食品、教育、福祉、医療等のさまざまな分野において、協働する他の専門職との相互理解に主体的に取り組むことができる。

2. カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

健康科学部

健康科学部は、建学の精神であり学園訓である「親切」を根幹としており、教育課程では、「個々の人格を陶冶し、かつ高い教養を身に纏った力強い職能人を育成する」ことを目的としています。これを達成するため、第一に、学士力向上を目標として教養科目、外国語科目などを医療科学部・生活環境学部・児童教育学部と可能な限り共通で設け、幅広い視野に立った豊かな人間性を育成します。第二に、2 学科それぞれに多くの専門科目を設置して、体系的な教育課程を実現しつつ、有機的連携を保ちます。健康栄養学科においては、将来管理栄養士として活躍できる人材を養成するために必要な専門科目を多く設置し、国家試験合格を支援しています。看護学科においては、健康科学についての基本的な認識を土台として、看護の職務を遂行する上で必要となる専門的な知識と技術の修得のための専門科目を多く設置しています。学部全体(学士課程)では、活きたコミュニケーション能力をもち、専門職域のリーダーとして社会貢献のできる人材を育てるための教育課程を編成しています。

健康栄養学科

1. 教育課程の編成目標

ディプロマポリシーの達成に向け、食と健康に関する専門知識と技能、科学技術の進展やグローバル化に対応できる専門知識と技能を修得し、医療職とも連携できる管理栄養士としての能力を育成します。

2. 教育課程の編成と特色

1) セメスター制と GPA

セメスター制を導入し、一年を前期と後期に分け、半期ごとに完結する授業を行います。これにより、学生は半期ごとに単位履修状況を見直し、管理栄養士国家試験受験資格や栄養教諭免許などの取得可能性について確認できます。また、GPA(Grade Point Average)を活用して学生指導を充実させます。

2) 全学共通科目の設定と充実

大学での学びの導入として、初年次セミナーを1 年次において履修し、大学生活における学修の目標を見定め、専門科目の履修目的の確認やモチベーションの高揚を目指します。また、「学士力」育成を目指し、人間形成、一般教育、外国語、情報・表現などのカテゴリーに分けた全学共通科目を可能な限り選択できるよう設置します。

3) 専門科目群

管理栄養士養成課程として、理論と実践の一体的な専門教育を目指したカリキュラム編成を行い、必修・選択等の割合を適切に配置し系統的に編成します。また、学生が自らの興味関心あるいは将来の職域をふまえてより深い専門知識や技能を修得するために、発展・応用科目を設置します。さらに医療科学部ならびに看護学科との連携のもと学部・学科間連携科目を設置します。

4) 学修成果測定

- (1) ルーブリックによる学修成果の可視化を図ります。
- (2) 学修ポートフォリオによる学修成果の蓄積を行っていきます。
- (3) 管理栄養士が必要とする学修成果や学修達成度の評価を行います。

5) 学修環境

- (1) 管理栄養士国家試験受験資格取得に必要な科目配置を行います。
- (2) 管理栄養士が必要とする知識と技能の統合のための科目「健康栄養学総合演習」を設置します。
- (3) 授業担当者とクラス担任の緊密な連絡と情報交換により、きめ細かい指導を行います。
- (4) 総合学修のための自習室を準備します。

3.教育課程

全学共通科目

健康科学部開講科目

授業科目		単位数		授業形態	配当学年								授業時間数	栄養教諭一種	保健師	備考
		必修	選択		1年		2年		3年		4年					
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
人間形成科目	建学のこころ	1		講義									1			
	ジェンダー論		2	講義									2			
	キャリア入門		2	講義									2			
一般教育科目	哲学の方法		2	講義									2			
	心のしくみ		2	講義									2			
	文学の表現と鑑賞		2	講義									2			
	歴史に学ぶ		2	講義									2			健康栄養学科は2・3年 看護学科は2・4年
	国際事情		2	講義									2			
	日本国憲法		2	講義									2	◎	◎	健康栄養学科は1・2年 看護学科は1・2・4年
	くらしの経済		2	講義									2			
	生活と地理		2	講義									2			健康栄養学科は2・3年 看護学科は1・2年
	数学の世界		2	講義									2			健康栄養学科は2・3年 看護学科は2・4年
	一般化学		2	講義									2			
	生命のしくみ		2	講義									2			
	生活の物理		2	講義									2			健康栄養学科は1・2年 看護学科は1・2・4年
	地球環境と人間		2	講義									2			健康栄養学科は1・2年 看護学科は1・2・4年
	初年次セミナー	2		講義									2			
芸術科目	音楽		1	演習									2			
	美術		1	演習									2			健康栄養学科は2・3年 看護学科は2・4年
	書道		1	演習									2			健康栄養学科は2・3年 看護学科は2・4年
外国語科目	Basic English 1	1		演習									2	◎	◎	
	Basic English 2	1		演習									2	◎	◎	
	Advanced English 1		1	演習									2			
	Advanced English 2		1	演習									2			
	総合英語A－1	1		演習									2	◎	◎	
	総合英語A－2	1		演習									2	◎	◎	
	総合英語B－1		1	演習									2			
	総合英語B－2		1	演習									2			
	初級フランス語1		1	演習									2			「初級フランス語2」または「初級中国語2」は、「初級中国語1」を履修していないと履修できません。また「初級フランス語1」または「初級中国語1」が
	初級フランス語2		1	演習									2			「失格」または「不合格」になった場合は、「初級フランス語2」または「初級中国語2」は履修できません。「中級中国語2」は履修できません。「中級フランス語」「中級中国語」は「初級フランス語2」「初級中国語2」の単位を取得していないと履修できません。
	中級フランス語		1	演習									2			
	初級中国語1		1	演習									2			
初級中国語2		1	演習									2				
中級中国語		1	演習									2				
表現・情報科目	情報処理演習1		1	演習									2	◎	◎	看護学科は必修
	情報処理演習2		1	演習									2	◎	◎	看護学科は必修
	日本語表現法1		1	演習									2			
	日本語表現法2		1	演習									2			
健康・体育科目	健康科学		2	講義									2			
	スポーツ1		1	実技									2	◎	◎	
	スポーツ2		1	実技									2	◎	◎	

(注) 1.栄養教諭一種免許状、保健師国家試験受験資格(栄養教諭二種免許状に必要な科目を含む)を取得するためには、

◎印(必修)の単位を取得すること。

2.開講学年・時期は各年度の授業計画により変更する場合がある。

健康栄養学科

(1)教育目的について

食と健康に関する専門知識と技能とともに、科学技術の進展やグローバル化に対応できる専門知識と技能を修得し、医療職とも連携できる管理栄養士の育成を目的とします。

(2)授業科目について

私たちの食生活の現状は、さまざまな食物を手に入れることができ、食の外部化とも相まって多様で豊かな食生活を営んでいるようにみえます。しかし、食物や栄養と健康に関する正しい知識が不十分なことにより、栄養のアンバランスを生み、生活習慣病をはじめとする慢性疾患の増加が問題となっています。また、少子化・超高齢化のなかで疾病構造は大きく変化してきています。「食と健康」の問題を解決することは社会的課題となっており、ますます食物・栄養分野の専門家の役割と重要度が高まると考えられます。

このように、健康をめざした「食」分野からの問題解決が求められている状況に対応して、健康栄養学科は次のことを教育のねらいとしています。

- (1) 食品の安全性、嗜好性、機能性など、食品に関する幅広い専門的知識を習得した食の専門家を養成します。
- (2) 小児、高齢者など各ライフステージにおいて、身体状況、栄養状態の改善のために計画、実践、評価ができる総合的能力を養い、地域保健に貢献できる人材を育成します。
- (3) 傷病者の病態の改善に、管理栄養士の立場からチーム医療の一員として貢献できる能力を養います。
- (4) 保健、医療、福祉活動のグローバル化に対応し、国際健康栄養演習(海外研修)を通して国際感覚豊かな管理栄養士の育成をめざします。

以上のような教育目標を達成するために、健康栄養学科では理論と実践の一体的な教育をめざしたカリキュラム編成をしています。

なお、指定の科目の単位を修得すれば、卒業と同時に栄養士免許証と管理栄養士免許取得のための国家試験受験資格が得られます。さらに、食品衛生監視員および食品衛生管理者の任用資格が得られます。また、栄養教諭に関する専門科目や教育の基礎的理解に関する科目等の単位を修得すれば栄養教諭一種免許状が取得できます。

全学共通科目・基礎関連科目(健康科学部共通科目)

幅広い視野に立った豊かな人間性を育成し、専門科目の学修の基礎づくりをします。

専門科目

専門科目は専門基礎分野と専門分野に分かれています。専門基礎分野は健康と栄養・食物をめぐる諸問題を科学的に考えるために必要な知識を修得する科目群であり、専門分野は専門基礎知識に基づいて具体的な方法と技術を修得する科目群です。また、管理栄養士としての総合力を修得し、問題を解決する能力を高めるための総合科目群があります。

〔専門基礎分野〕

- * 学科基礎科目: 化学や生物などの基礎的な科目について修得します。
- * 社会・環境と健康: 社会や環境と健康の関わりについて理解します。
- * 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち: 人体の構造や機能を系統的に理解した上で、主要疾患の成因、病態、診断、治療等を学びます。

- * 食べ物と健康:食品の各種成分、加工、調理について学び、人体の栄養面や安全面などへの影響、衛生管理の方法、評価を理解します。

〔専門分野〕

- * 基礎栄養学:エネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義を理解します。
- * 応用栄養学:妊娠、成長、加齢などライフステージにおける身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方や方法を理解します。
- * 栄養教育論:健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集と分析を行い、それらを総合的に評価・判定する能力を養い、対象に応じた栄養教育のあり方と方法を修得します。
- * 臨床栄養学:傷病者の病態や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法を修得します。
- * 公衆栄養学:地域における保健・医療・福祉・介護システムの中で、適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得します。
- * 給食経営管理論:給食運営や関連の資源を総合的に判断し、マネジメントを行う能力を養います。

〔総合科目群〕

- * 総合演習:管理栄養士として必要な専門分野の知識および技能について統合をはかります。
- * 臨地実習:医療機関、特定給食施設、保健所などの実践活動の場において、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識と技能を修得します。
- * 発展・応用科目:健康科学や口腔と健康に関するより専門的・実践的な知識を修得し、職能人としての能力を養います。また、「国際健康栄養演習(海外研修)」では海外における食と健康に関する課題や栄養士の活動状況について講義や見学などを通して学びます。
- * 学部・学科間連携科目:看護学科や医療科学部の専門科目において、本学科の教育目的と関連の深い内容の講義を選択できます。
- * 栄養教諭:栄養教諭の役割、食育の意義、食に関する教育の理論と方法について学ぶとともに、子どもの食をとりまくさまざまな課題の解決に取り組むことができる能力を養います。
- * 総合科目:「アカデミックスキルズ」は健康栄養に関する先端研究への理解を深めるために、卒業研究・卒業演習と連動させて文献検索、文献紹介、専門用語解説などの講義とともに論文を講読します。「健康栄養学特論」は専門基礎分野、専門分野の知識を統合し、科学的根拠に基づいた問題解決能力を養います。
- * 卒業研究・卒業演習:専門領域に関する研究を通して自己実現をはかることをめざします。

(3)教育課程について

健康栄養学科 専門科目

授業科目		単位数		授業形態	配当学年								授業時間数	履修コース		
		必修	選択		1年		2年		3年		4年			A	B	C
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
(学部共通科目)	健康科学概論	2		講義								2				
	基礎化学(有機化学を含む)	2		講義								2				
	基礎生物学		2	講義								2				
	情報処理概論		2	講義								2				
	基礎統計処理		2	講義								2				
学科基礎	栄養の基礎化学演習		1	演習								2				
	栄養の基礎生物学演習		1	演習								2				
	健康栄養学基礎実験	1		実験								3				
社会・健康環境	健康管理概論	2		講義								2		○		
	公衆衛生学	2		講義								2	○	○		
	公衆衛生学実験		1	実験								3		○		
	社会福祉概論		2	講義								2	○	○		
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学1	2		講義								2	○	○		
	解剖生理学2	2		講義								2	○	○		
	解剖生理学実験	1		実験								3	○	○		
	構造生化学	2		講義								2	○	○		
	代謝生化学		2	講義								2		○		
	生化学実験	1		実験								3	○	○		
	運動生理学		2	講義								2		○		
	運動生理学実験		1	実験								3		○		
	病態と治療の基礎	2		講義								2	○	○		
	病態と治療(疾病論)1		2	講義								2		○		
病態と治療(疾病論)2		2	講義								2		○			
食べ物と健康	食品学1	2		講義								2	○	○		
	食品学2(食品加工学を含む)	2		講義								2	○	○		
	食品学実験1	1		実験								3	○	○		
	食品学実験2		1	実験								3		○		
	食品衛生学(微生物学を含む)	2		講義								2	○	○		
	食品衛生学実験	1		実験								3	○	○		
	調理学	2		講義								2	○	○		
	調理学実習1	1		実習								3	○	○		
	調理学実習2	1		実習								3	○	○		
	調理科学実験		1	実験								3	○	○		
基礎栄養学	基礎栄養学	2		講義								2	○	○		
	基礎栄養学実験		1	実験								3	○	○		
応用栄養学	応用栄養学1	2		講義								2	○	○		
	応用栄養学2	2		講義								2	○	○		
	応用栄養学3		2	講義								2		○		
	応用栄養学実習		1	実習								3	○	○		
栄養教育論	健康行動科学		2	講義								2		○		
	栄養教育論	2		講義								2	○	○		
	栄養カウンセリング論	2		講義								2	○	○		
	栄養教育実習		1	実習								3	○	○		

授業科目		単位数 必修 選択		授業 形態	配当学年								授業 時間 数	履修コース		
					1年		2年		3年		4年			A	B	C
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
臨床栄養学	臨床栄養学1	2		講義								2	○	○		
	臨床栄養学2	2		講義								2	○	○		
	臨床栄養学3		2	講義								2		○		
	臨床栄養管理学		2	講義								2		○		
	臨床栄養学実習	1		実習								3	○	○		
	栄養ケアプロセス実習		1	実習								3		○		
公衆栄養学	公衆栄養学1	2		講義								2	○	○		
	公衆栄養学2		2	講義								2		○		
	公衆栄養学実習		1	実習								3		○		
給食経営管理論	給食経営管理論	2		講義								2	○	○		
	フードマーケティング論		2	講義								2		○		
	給食経営管理基礎実習	1		実習								3	○	○		
	給食経営管理応用実習		1	実習								3	○	○		
	食事管理計画演習		1	演習								2		○		
総合演習	臨地実習事前事後演習1		1	演習								2		○		
	臨地実習事前事後演習2		1	演習								2		○		
	健康栄養学総合演習		1	演習								2		○		
臨地実習	給食の運営		1	実習								-	○	○		
	臨床栄養学臨地実習1		1	実習								-		★	管理栄養士 国家試験受 験資格取得 には、3単位 以上選択必 修	
	臨床栄養学臨地実習2		1	実習								-		★		
	公衆栄養学臨地実習		1	実習								-		★		
	給食経営管理臨地実習		1	実習								-		★		
発展・応用科目	健康科学	栄養管理学実習		1	実習							3				
		代謝栄養学		1	講義								1			
		分子生物学		1	講義								1			
		食品機能論		1	講義								1			
		薬理学		1	講義								1			
		食物とアレルギー		1	講義								1			
	口腔と健康	口腔健康科学・技術演習		1	演習								2			
		口腔機能障害学		1	講義								1			
		摂食嚥下リハビリテーション学・技術演習		1	演習								2			
	グローバルコミュニケーション	健康栄養のための英語基礎演習		1	演習								2			
健康栄養のための英語応用演習			1	演習								2				
国際健康栄養演習(海外研修)			2	演習								4				
学部・学科間連携科目	看護	災害看護論		1	講義							1			2単位以上 選択必修	
		チーム医療連携論		1	講義							1				
		認知症看護援助論		1	講義							1				
	リハビリテーション	リハビリテーション概論	2	1	講義							1				
		健康増進と理学療法		1	講義							1				
		内部障害と作業療法		1	講義							1				
栄養教諭	栄養教諭概論		2	講義							2			○		
	学校栄養教育論		2	講義							2			○		
総合科目	アカデミックスキルズ		2	講義							2					
	健康栄養学特論		1	演習							2					
卒業演習			3	演習							-					
卒業研究			6	演習							-					

(注)1.A欄の○は栄養士免許証取得に必要な専門科目。B欄の○は管理栄養士国家試験受験資格取得に必要な専門科目。★は選択必修科目。C欄の○は栄養教諭一種免許状取得に必要な必修科目(「4.免許・資格」の(1)教員免許状を参照)。

- 2.「給食の運営」、「臨床栄養学臨地実習1」、「臨床栄養学臨地実習2」、「公衆栄養学臨地実習」、「給食経営管理臨地実習」は、「臨地実習事前事後演習1」を履修していないと履修できません。
- 3.「健康栄養学総合演習」は、「健康栄養学特論」を履修していないと履修できません。
- 4.「卒業研究」、「卒業演習」は、「アカデミックスキルズ」の単位を修得していないと履修できません。
- 5.「卒業研究」、「卒業演習」は、いずれかを選択し履修すること。

＜健康栄養学科＞カリキュラムマップ

目標のキーワード 到達目標(学修成果目標)

DP:ディプロマポリシー

① 知識・技能	①DP1 食物学や栄養学を中心に幅広く学修し、管理栄養士に必要な資質を高め、基礎知識と応用力を身に付けている。
② 思考・判断・表現	②DP2 食物や栄養に関する事柄について、問題点を把握し解決するための思考力と判断力を身に付け、さまざまな対象者の意見を聞き、それに対する自分の考えや知識を正確に伝えることができる表現力がある。
③ 主体性・多様性・協働性	③DP3 管理栄養士養成課程での学修を基に、常に研鑽を積み、新たな問題や課題に対して積極的に取り組み、責任ある行動や言動ができる。

科目別目標

特に重点的に育成する能力＝◎、重点的に育成する能力＝○

学年	期	ナンバリング	科目名	資格コード	①	②	③
1	前期	UA0 0 00 L 1 01 Z	建学のこころ			○	◎
		UA0 0 37 L 2 14 L	初年次セミナー		◎	○	
		UA0 0 83 E 4 01 L	Basic English 1	N2N3T1T3T4T5T6T7	◎	○	
		UA0 0 83 E 4 05 L	総合英語A-1	H1N2N3T1T3T4T5T6T7	◎	○	
		UA0 0 54 E 5 01 L	情報処理演習1	H1J1J2N2N3T1T3T4T5T6T7	◎	○	
		UA0 0 81 E 5 03 L	日本語表現法1	T4	◎	○	
		HH0 0 54 L a 11 L	情報処理概論		◎	○	
		HH0 0 49 L a 01 L	健康科学概論		◎	○	
		HH0 0 43 L a 02 L	基礎化学(有機化学を含む)	E3	◎	○	
		HH0 0 43 E b 01 L	栄養の基礎化学演習		◎	○	
		HH0 0 46 E b 02 L	栄養の基礎生物学演習		◎	○	
		HH0 0 49 M b 03 L	健康栄養学基礎実験		○	◎	
		HH0 0 49 L c 11 L	健康管理概論	E2E3	◎	○	
		HH0 0 49 L d 11 L	解剖生理学1	E1E2E3	◎	○	
		HH0 0 49 L e 11 L	食品学1	E1E2E3	◎	○	
		HH0 0 59 L e 21 L	調理学	E1E2E3	◎	○	
		HH0 0 59 T e 22 L	調理学実習1	E1E2E3	◎	○	○
1・2		UA0 0 33 L 2 05 L	国際事情		◎	○	
		UA0 0 33 L 2 07 L	くらしの経済		◎	○	
		UA0 0 43 L 2 10 L	一般化学		◎	○	
		UA0 0 46 L 2 11 L	生命のしくみ		◎	○	
		UA0 0 85 E 4 09 L	初級フランス語1		◎	○	
		UA0 0 82 E 4 12 L	初級中国語1		◎	○	
		UA0 0 49 L 6 01 L	健康科学	H1N2	◎	○	
		UA0 0 78 P 6 02 L	スポーツ1	H1N2N3T1T3T4T5T6T7	◎	○	
1	後期	UA0 0 83 E 4 02 L	Basic English 2	N2N3T1T3T4T5T6T7	◎	○	
		UA0 0 83 E 4 06 L	総合英語A-2	H1N2N3T1T3T4T5T6T7	○	◎	
		UA0 0 54 E 5 02 L	情報処理演習2	H1J1J2N2N3T1T3T4T5T6T7	◎	○	
		UA0 0 81 E 5 04 L	日本語表現法2	T4	○	◎	
		HH0 0 46 L a 03 L	基礎生物学		◎	○	
		HH0 0 49 L c 12 L	公衆衛生学	E1E2E3	◎	○	
		HH0 0 49 L d 12 L	解剖生理学2	E1E2E3	◎	○	
		HH0 0 49 L d 21 L	構造生化学	E1E2E3	○	◎	
		HH0 0 49 L e 12 L	食品学2(食品加工学を含む)	E1E2E3	◎	○	
		HH0 0 49 M e 13 M	食品学実験1	E1E2E3	○	◎	
		HH0 0 59 T e 23 M	調理学実習2	E1E2	◎	○	
		HH0 0 49 L f 11 L	基礎栄養学	E1E2E3	◎	○	○
		HH0 0 49 M f 12 M	基礎栄養学実験	E1E2	○	◎	
		HH0 0 49 L h 11 L	健康行動科学	E2	◎	○	○
		HH0 0 49 E k 11 M	食事管理計画演習	E2	○	◎	
		HH0 0 49 E o 11 M	口腔健康科学・技術演習		◎	○	

学年	期	ナンバリング	科目名	資格コード	①	②	③
1・2	後期	UA0 0 36 L 1 02 M	ジェンダー論		◎	○	
		UA0 0 36 L 1 03 L	キャリア入門		◎	○	
		UA0 0 14 L 2 02 L	心のしくみ		◎	○	
		UA0 0 32 L 2 06 L	日本国憲法	N2N3T1T3T4T5T6T7	◎	○	
		UA0 0 42 L 2 12 L	生活の物理		◎	○	
		UA0 0 45 L 2 13 L	地球環境と人間		◎	○	
		UA0 0 85 E 4 10 L	初級フランス語2		◎	○	
		UA0 0 82 E 4 13 L	初級中国語2		◎	○	
		UA0 0 78 P 6 03 L	スポーツ2	H1N2N3T1T3T4T5T6T7	◎	○	
2	前期	UA0 0 83 E 4 03 M	Advanced English 1		○	◎	
		UA0 0 83 E 4 07 M	総合英語Bー1		○	◎	
		HH0 0 49 M c 13 M	公衆衛生学実験	E2	○	◎	○
		HH0 0 49 M d 13 M	解剖生理学実験	E1E2E3	○	◎	○
		HH0 0 49 L d 22 L	代謝生化学	E2	○	◎	
		HH0 0 49 M d 23 M	生化学実験	E1E2E3	○	◎	
		HH0 0 49 L g 11 L	応用栄養学1	E1E2E3	◎	○	
		HH0 0 49 L h 12 L	栄養教育論	E1E2	○	◎	
		HH0 0 49 L i 11 L	臨床栄養学1	E1E2E3	○	◎	
		HH0 0 49 T i 12 M	臨床栄養学実習	E1E2	○	◎	○
		HH0 0 49 L j 11 L	公衆栄養学1	E1E2E3	○	◎	
		HH0 0 83 E p 11 L	健康栄養のための英語基礎演習		○	◎	
2・3		UA0 0 11 L 2 01 L	哲学の方法		◎	○	
		UA0 0 91 L 2 03 L	文学の表現と鑑賞		○	◎	
		UA0 0 29 L 2 08 L	生活と地理		◎	○	
		UA0 0 76 E 3 01 L	音楽		◎	○	
		UA0 0 85 E 4 11 M	中級フランス語		○	◎	
		UA0 0 82 E 4 14 M	中級中国語		○	◎	
2	後期	UA0 0 83 E 4 04 M	Advanced English 2		○	◎	
		UA0 0 83 E 4 08 M	総合英語Bー2		○	◎	
		HH0 0 36 L c 14 L	社会福祉概論	E1E2	◎	○	
		HH0 0 49 L d 31 L	病態と治療の基礎	E1E2	◎	○	
		HH0 0 49 L e 31 L	食品衛生学(微生物学を含む)	E1E2E3	◎	○	
		HH0 0 49 L g 12 L	応用栄養学2	E1E2E3	○	◎	
		HH0 0 49 T g 13 M	応用栄養学実習	E1E2	○	◎	
		HH0 0 49 T h 13 M	栄養教育実習	E1E2	○	◎	
		HH0 0 49 L i 13 L	臨床栄養学2	E1E2E3	○	◎	
		HH0 0 49 L j 12 L	公衆栄養学2	E2	○	◎	
		HH0 0 49 L k 12 L	給食経営管理論	E1E2E3	○	◎	○
		HH0 0 49 T k 13 M	給食経営管理基礎実習	E1E2E3	◎	○	○
		HH0 0 49 E l 11 H	臨地実習事前事後演習1	E2	○	◎	○
		HH0 0 49 L o 12 M	口腔機能障害学			◎	○
		HH0 0 83 E p 12 M	健康栄養のための英語応用演習		○	◎	
		HH0 0 49 E p 13 M	国際健康栄養演習(海外研修)		○	○	◎
		UA0 0 21 L 2 04 L	歴史に学ぶ		◎	○	
		UA0 0 41 L 2 09 L	数学の世界		◎	○	
2・3		UA0 0 72 E 3 02 L	美術		◎	○	
		UA0 0 72 E 3 03 L	書道		◎	○	
3	前期	HH0 0 49 L d 32 M	病態と治療(疾病論)1	E2	○	◎	
		HH0 0 49 M e 14 M	食品学実験2	E2	○	◎	
		HH0 0 49 L g 14 M	応用栄養学3	E2	○	◎	
		HH0 0 49 L h 14 M	栄養カウンセリング論	E1E2	○	◎	
		HH0 0 49 L i 14 M	臨床栄養学3	E2	○	◎	
		HH0 0 49 T i 15 M	栄養ケアプロセス実習	E2	○	◎	○
		HH0 0 49 T j 13 M	公衆栄養学実習	E2		◎	○
		HH0 0 49 L k 14 M	フードマーケティング論	E2	○	◎	○
		HH0 0 49 T k 15 M	給食経営管理応用実習	E1E2	○	◎	○
		HH0 0 49 E o 13 M	摂食嚥下リハビリテーション学・技術演習			◎	○
		HH0 0 37 L s 11 M	栄養教諭概論	T7	◎	○	○

学年	期	ナンバリング	科目名	資格コード	①	②	③
3	後期	HH0 0 41 L a 12 L	基礎統計処理		◎	○	
		HH0 0 49 L d 14 M	運動生理学	E2	◎	○	
		HH0 0 49 M d 15 M	運動生理学実験	E2	○	◎	
		HH0 0 49 L d 33 M	病態と治療(疾病論)2	E2	○	◎	
		HH0 0 49 M e 32 M	食品衛生学実験	E1E2E3	○	◎	
		HH0 0 59 M e 24 M	調理科学実験	E1E2	○	◎	○
		HH0 0 49 L i 16 M	臨床栄養管理学	E2		◎	○
		HH0 0 49 T n 11 M	栄養管理学実習		○	◎	○
		HH0 0 37 L s 12 M	学校栄養教育論	T7	○	◎	○
		HH0 0 00 L t 01 M	アカデミックスキルズ		○	○	◎
	通年	HH0 0 49 E l 12 H	臨地実習事前事後演習2	E2	○	○	◎
		HH0 0 49 T m 01 H	給食の運営	E1E2	○	○	◎
		HH0 0 49 T m 02 H	臨床栄養学臨地実習1	E2	○	○	◎
		HH0 0 49 T m 03 H	臨床栄養学臨地実習2	E2	○	○	◎
		HH0 0 49 T m 04 H	公衆栄養学臨地実習	E2	○	○	◎
		HH0 0 49 T m 05 H	給食経営管理臨地実習	E2	○	○	◎
4	前期	HH0 0 49 L n 12 M	代謝栄養学		○	◎	
		HH0 0 49 L n 13 M	分子生物学		○	◎	
		HH0 0 49 L n 14 M	食品機能論		○	◎	
		HH0 0 49 L n 15 M	薬理学		○	◎	
		HH0 0 49 L n 16 M	食物とアレルギー		○	◎	
		HH0 0 49 E t 11 M	健康栄養学特論		○	◎	○
		HH0 0 00 E v 01 H	卒業演習		○	○	◎
	後期 通年	HH0 0 49 E t 12 M	健康栄養学総合演習	E2	○	◎	○
3・4	後期	HH0 0 49 L q 01 M	災害看護論		○	◎	○
		HH0 0 49 L q 02 M	チーム医療連携論		○	◎	○
		HH0 0 49 L q 03 M	認知症看護援助論		○	◎	○
		HH0 0 49 L r 01 M	リハビリテーション概論		○	◎	○
		HH0 0 49 L r 02 M	健康増進と理学療法		○	◎	○
		HH0 0 49 L r 03 M	内部障害と作業療法		○	◎	○

<健康栄養学科>カリキュラムツリー

- (1) *印の科目はいずれかの学年で履修できる。(2)科目名に記載の①②③は①DP1、②DP2、③DP3を示す。
(3)科目名に記載されているa・b・c・dは資格必修科目を示す。必修科目の区分は、a: 栄養士、b: 管理栄養士、c: 栄養教諭一種免許(c以外に、教育の基礎的理解に関する科目等が必要)、d: 食品衛生監視員等を示す。
(4)科目間の→は履修順序を示す。(逆方向の履修は控える)

ツリーの見方

科目分類	1年		2年		3年		4年		到達目標
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
人間形成	③建学のこころ	①ジェンダー論* ①キャリア入門* ①日本国憲法*:c	①国際事情* ①一般化学* ①生命のしくみ* ①地球環境と人間*	①ジェンダー論* ①キャリア入門* ①日本国憲法*:c ①生活の物理* ①心のしくみ* ①地球環境と人間* ①歴史に学ぶ* ①数学の世界*					人間形成、一般教育、芸術、外国語、情報・表現、体育・健康科目から幅広い視野に立った豊かな人間性を身につける。
	①国際事情* ①一般化学* ①生命のしくみ* ①地球環境と人間*	①ジェンダー論* ①キャリア入門* ①日本国憲法*:c ①生活の物理* ①心のしくみ* ①地球環境と人間* ①歴史に学ぶ* ①数学の世界*	①国際事情* ①一般化学* ①生命のしくみ* ①地球環境と人間*	①ジェンダー論* ①キャリア入門* ①日本国憲法*:c ①生活の物理* ①心のしくみ* ①地球環境と人間* ①歴史に学ぶ* ①数学の世界*					
一般教育	①くらしの経済*		①くらしの経済* ②文学の表現と鑑賞*	①くらしの経済* ②文学の表現と鑑賞*					①歴史に学ぶ* ①数学の世界*
	①くらしの経済*		①くらしの経済* ②文学の表現と鑑賞*	①くらしの経済* ②文学の表現と鑑賞*					
芸術	①初年次セミナー		①音楽*	①書道* ①美術*	①音楽*				①書道* ①美術*
	①初年次セミナー		①音楽*	①書道* ①美術*	①音楽*				
外国語	①Basi English 1:c → ②Basi English 2:c ②総合英語A-1:c → ②総合英語A-2:c ①初級フランス語1* → ①初級フランス語2* ②中級フランス語*	①Basi English 1:c → ②Basi English 2:c ②総合英語A-1:c → ②総合英語A-2:c ①初級フランス語1* → ①初級フランス語2* ②中級フランス語*	②Advanced English 1 → ②Advanced English 2 ②総合英語B-1 → ②総合英語B-2 ①初級フランス語1* → ①初級フランス語2* ②中級フランス語*	②Advanced English 1 → ②Advanced English 2 ②総合英語B-1 → ②総合英語B-2 ①初級フランス語1* → ①初級フランス語2* ②中級フランス語*					②中級フランス語* ②中級中国語*
	①初級中国語1* → ①初級中国語2*	①初級中国語1* → ①初級中国語2*	①初級中国語1* → ①初級中国語2*	①初級中国語1* → ①初級中国語2*					
情報・表現	①情報処理演習1:c ①日本語表現法1	①情報処理演習2:c ②日本語表現法2							
	①情報処理演習1:c ①日本語表現法1	①情報処理演習2:c ②日本語表現法2							
体育・健康	①健康科学*		①健康科学*						
	①健康科学*		①健康科学*						
健康	①スポーツ1*:c → ①スポーツ2*:c	①スポーツ2*:c	①スポーツ1*:c → ①スポーツ2*:c	①スポーツ2*:c					
	①スポーツ1*:c → ①スポーツ2*:c	①スポーツ2*:c	①スポーツ1*:c → ①スポーツ2*:c	①スポーツ2*:c					

専門科目分類	1年		2年		3年		4年		到達目標
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎 関連科目	①健康科学概論 ①基礎化学(有機化学を含む):d ①情報処理概論	①基礎生物学							専門科目の学修が必要となる健康科学、生物や化学、情報に関する知識と技能を身につける。
	①健康科学概論 ①基礎化学(有機化学を含む):d ①情報処理概論	①基礎生物学							
学科基礎科目	①栄養の基礎化学演習 ①栄養の基礎生物学演習 ②健康栄養学基礎実験								人間の健康を規定する要因としての社会・環境について学び、人々の健康状態とその規定要因を測定・評価する方法、健康の維持・増進や疾病予防に役立てる考え方やその取組について理解する。また、保健・医療・福祉制度や関係法規の概要についても学修する。
	①栄養の基礎化学演習 ①栄養の基礎生物学演習 ②健康栄養学基礎実験								
社会・環境 と健康	①健康管理概論:bd → ①公衆衛生学:abd → ①解剖生理学:abd → ②代謝生化学:abd → ②生化学実験:abd	①公衆衛生学:abd → ②公衆衛生学実験:b → ①社会福祉概論:ab							人体の様々な器官の構造と機能について、細胞や分子のレベルまで理解した上で、疾病の成り立ちを学修する。
	①健康管理概論:bd → ①公衆衛生学:abd → ①解剖生理学:abd → ②代謝生化学:abd → ②生化学実験:abd	①公衆衛生学:abd → ②公衆衛生学実験:b → ①社会福祉概論:ab							
人体の構造 と機能及び 疾病の成り 立ち	①解剖生理学:abd → ②代謝生化学:abd → ②生化学実験:abd	①解剖生理学:abd → ②代謝生化学:abd → ②生化学実験:abd	①解剖生理学:abd → ②代謝生化学:abd → ②生化学実験:abd	①解剖生理学:abd → ②代謝生化学:abd → ②生化学実験:abd					人体の様々な器官の構造と機能について、細胞や分子のレベルまで理解した上で、疾病の成り立ちを学修する。
	①解剖生理学:abd → ②代謝生化学:abd → ②生化学実験:abd	①解剖生理学:abd → ②代謝生化学:abd → ②生化学実験:abd	①解剖生理学:abd → ②代謝生化学:abd → ②生化学実験:abd	①解剖生理学:abd → ②代謝生化学:abd → ②生化学実験:abd					
食べ物と健康	①食品学1:abd → ②食品学実験:abd	①食品学2(食品加工学を含む):abd → ②食品学実験:abd	①食品学1:abd → ②食品学実験:abd	①食品学2(食品加工学を含む):abd → ②食品学実験:abd					生育・生産・調理・加工・保存における食品成分の変化、食べ物のおいしさや栄養、健康に及ぼす影響を理解する。また、食品の安全確保のための理論と技能を修得する。
	①食品学1:abd → ②食品学実験:abd	①食品学2(食品加工学を含む):abd → ②食品学実験:abd	①食品学1:abd → ②食品学実験:abd	①食品学2(食品加工学を含む):abd → ②食品学実験:abd					
食生活と健康	①調理学:abd ①調理学実習1:abd → ①調理学実習2:ab	①調理学:abd ①調理学実習1:abd → ①調理学実習2:ab	①調理学:abd ①調理学実習1:abd → ①調理学実習2:ab	①調理学:abd ①調理学実習1:abd → ①調理学実習2:ab					生育・生産・調理・加工・保存における食品成分の変化、食べ物のおいしさや栄養、健康に及ぼす影響を理解する。また、食品の安全確保のための理論と技能を修得する。
	①調理学:abd ①調理学実習1:abd → ①調理学実習2:ab	①調理学:abd ①調理学実習1:abd → ①調理学実習2:ab	①調理学:abd ①調理学実習1:abd → ①調理学実習2:ab	①調理学:abd ①調理学実習1:abd → ①調理学実習2:ab					

教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目		単位数		授業形態	配当学年								授業時間数	備考
		必修	選択		1年		2年		3年		4年			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
A	教育原理		2	講義									2	
	教育史		2	講義									2	
	教師論		2	講義									2	
	教育制度論		2	講義									2	
	教育心理学		2	講義									2	
	特別支援教育論		2	講義									2	
	教育課程論		2	講義									2	
B	道德の指導法		2	講義									2	
	特別活動の指導法		2	講義									2	
	総合的な学習の時間の指導法		2	講義									2	
	教育の方法と技術(ICTの活用を含む)		2	講義									2	
	生徒指導論		2	講義									2	
	教育相談(カウンセリングを含む)		2	講義									2	
C	栄養教諭教育実習指導		1	講義									1	
	栄養教諭教育実習		1	実習									(2)	
	教職実践演習(栄養教諭)		2	演習									4	

(注)1.A欄は「教育の基礎的理解に関する科目」

B欄は「道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」

C欄は「教育実践に関する科目」

※教育の基礎的理解に関する科目等の修得方法は42ページを参照すること

※教育の基礎的理解に関する科目等は卒業に必要な単位に含めない

(注)2.開講学年・時期は各年度の授業計画により変更する場合がある。

(注)3.授業時間数に()が記してある科目は学外実習であることを示す。

＜健康科学部 教育の基礎的理解に関する科目等＞カリキュラムマップ

目標のキーワード	到達目標(学修成果目標)	DP:ディプロマポリシー
① 知識・技能	①DP1 教職に関する幅広い基礎知識と技能および、栄養の専門的知識と技能を有し、授業の構成や教材・教具の工夫ができる。	
② 思考・判断・表現	②DP2 学校現場等で生じている問題や地域や社会全体に関わる課題について、適切な対応を考え議論することができ、理論と実践を結びつけることができる。	
③ 主体性・多様性・協働性	③DP3 教育的愛情を持って児童・生徒に接することができ、対人関係力を身につけ、社会の一員として適切な行動ができる。	

科目別目標		特に重点的に育成する能力＝◎、重点的に育成する能力＝○											
学年	期	ナンバリング						科目名	資格コード	①	②	③	
1	前期	HT0	0	37	L	v	01	L	教育原理	T7	○	◎	◎
		HT0	1	37	L	v	07	L	教育課程論	T7	◎	○	
	後期	HT0	2	37	L	v	02	L	教育史	T7	◎		
		HT0	3	37	L	v	12	L	生徒指導論	T7	○	◎	
2	前期	HT0	4	37	L	v	05	L	教育心理学	T7	◎	○	
		HT0	5	37	L	v	04	L	教育制度論	T7	◎	○	
		HT0	6	37	L	v	08	L	道徳の指導法	T7	◎		○
	後期	HT0	7	37	L	v	03	L	教師論	T7		◎	○
		HT0	8	37	L	v	11	L	教育の方法と技術(ICTの活用を含む)	T7	◎	○	
		HT0	9	37	L	v	13	L	教育相談(カウンセリングを含む)	T7	◎	○	
3	前期	HT0	10	37	L	v	09	L	特別活動の指導法	T7	◎		○
		HT0	11	37	L	v	06	L	特別支援教育論	T7		◎	○
	後期	HT0	12	37	L	v	10	L	総合的な学習の時間の指導法	T7	◎	○	○
		HT0	13	37	L	v	14	H	栄養教諭教育実習指導	T7		○	◎
4	前期	HT0	14	37	T	v	15	H	栄養教諭教育実習	T7		○	◎
	後期	HT0	15	37	E	v	16	H	教職実践演習(栄養教諭)	T7	○	○	◎

＜健康科学部 教育の基礎的理解に関する科目等＞カリキュラムツリー

ツリーの見方 科目間の→は履修順序を示す。(逆方向の履修は控える)

科目	1年		2年		3年		4年		到達目標
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	教育史	教育心理学 教育制度論	教師論					◇教職の意義や教員の役割について理解し、教員の職務内容についての知識を身に付けている。
	教育課程論				特別支援教育論				◇特別な支援を要する児童・生徒への教育理論を修得する。
指導法、総合的な学習の時間等に関する科目				教育の方法と技術 (ICTの活用を含む)					◇道徳・特別活動・総合的な学習の時間についての指導法や情報機器及び教材の活用についての技術を身に付けている。
		生徒指導論	道徳の指導法		特別活動の指導法	総合的な学習の時間の指導法			◇生徒指導及び教育相談についての理論や方法を身に付けている。
教育実践に関する科目						栄養教諭教育 実習指導	栄養教諭 → 教育実習		◇教育実習において教員として必要な実践的な技術を修得するとともに、教職実践演習において教職についての知識・技術の補完と統合を行い、教員として必要な最低限の資質を身に付けている。

4.免許・資格

(1)教員免許状

〔1〕健康科学部(健康養栄学科)で教員免許状授与の所要資格を取得できる免許状は次のとおりです。

学 科	免 許 状 の 種 類
健 康 栄 養 学 科	栄養教諭一種免許状

〔2〕教員免許状を取得するためには、基礎資格(下表)を有し、「教育職員免許法及び同法施行規則」に定められた科目を履修し、所定の単位数を修得しなければなりません。

- 1) 免許状の種類にかかわらず「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」について、それぞれ2単位以上を修得しなければなりません。(41 ページ、表1)
- 2) 法により栄養教諭は「栄養に係る教育に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」がそれぞれ規定されています。(下表)

履修方法を表2-1以降に掲載していますので、それに基づいて必要な科目及び単位数を修得してください。

免許状の種類	基礎資格	専門科目の最低修得単位数	
		栄養に係る教育に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等
栄養教諭一種免許状	学士の学位を有すること、かつ、管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていること。	4	18

(注)この表で示しているのは、法規上の最低修得単位数です。本学で必要とする単位数は42ページの各表に示してあります。

〔3〕教育実習の履修について

栄養教諭の教育実習の単位修得には、「学校現場における実習」(1単位)と「事前及び事後の指導」(1単位)が必要です。

事前及び事後の指導の授業科目として、「栄養教諭教育実習指導」を開講しています。その授業内容は次のとおりです。

1. 事前指導

- (1) 実習の内容及び心得等
- (2) 実習記録の書き方
- (3) 学習指導案の作成
- (4) 模擬授業の実施

2. 事後指導

- (1) 実習報告会
- (2) 実習体験レポート提出

教育実習校の決定後はその変更はできません。また「教育の基礎的理解に関する科目等」が4単位以上不合格の場合は、実習が認められないことがあります。

実習にあたっては、本学及び実習校の指示に従わなくてはなりません。もしもその指示に反した場合には、実習を中止させられることがあります。教育実習を履修する学生は、教育実習に必要な諸経費を所定の期間内に納めなくてはなりません。

〔4〕教員免許状の授与申請について

栄養教諭の教員免許状は、本学で一括して申請し、栄養士免許証の取得後に渡します。申請に必要な諸経費を所定の期間内に納めなくてはなりません。

〔教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目〕

所要資格の取得には、免許状の種類にかかわらず、表1に掲げる科目及び単位数を修得しなければなりません。

(表1)

免許法施行規則第66条の6に定める科目区分		開設授業科目	単位数		配当学年	備考
科目	単位数		必	選		
日本国憲法	2	日本国憲法	2		1・2年	
体 育	2	スポーツ1	1		1・2年	
		スポーツ2	1		1・2年	
外国語コミュニケーション	2	Basic English 1	1		1年	
		Basic English 2	1		1年	
		総合英語A -1	1		1年	
		総合英語A -2	1		1年	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報処理演習1	1		1年	
		情報処理演習2	1		1年	
備考	各科目区分における開設科目をそれぞれ2単位以上修得すること。					

〔栄養に係る教育に関する科目〕

栄養一種免

健康栄養学科
(表 2 - 1)

免許法施行規則に定める科目区分等		栄養教諭一種免許状				
各科目に含める必要事項	単位数	開設授業科目	単位数		配当 学年	備考
			必	選		
・ 栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・ 食生活に関する歴史的及び文化的事項 ・ 幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項	2単位	栄養教諭概論	2		3年	
・ 食に関する指導の方法に関する事項	2単位	学校栄養教育論	2		3年	
合 計	4単位					

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

栄養一種免

健康栄養学科
(表 2 - 2)

免許法施行規則に定める科目区分等			栄養教諭一種免許状				
科目	各科目に含める必要事項	単位数	開設授業科目	単位数		配当 学年	備考
				必	選		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8単位	教育原理	2		1年	
			教育史		2	1年	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教師論	2		2年	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度論	2		2年	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		2年	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	2		3年	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2		1年	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、特別活動及び総合的な学習の時間に関する内容	6単位	道徳の指導法	2		2年	
			特別活動の指導法	2		3年	
			総合的な学習の時間の指導法	2		3年	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術(ICTの活用を含む)	2		2年	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	2		1年	
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2単位	栄養教諭教育実習指導	1		3年	
			栄養教諭教育実習	1		4年	
	教職実践演習	2単位	教職実践演習(栄養教諭)	2		4年	
合 計		18単位	必修を含めて28単位以上修得のこと。				

(2)管理栄養士

1)管理栄養士になるために

健康栄養学科においては栄養士免許証取得に必要な専門科目を修得すれば卒業と同時に栄養士免許が得られます。また、管理栄養士国家試験受験資格を取得するために必要な専門科目をすべて修得すると、「管理栄養士国家試験」が受験できます。(45 ページ参照)

2)管理栄養士の臨地実習

健康栄養学科において管理栄養士国家試験受験資格を取得するためには、「給食の運営」1単位ならびに「臨床栄養学臨地実習1」、「臨床栄養学臨地実習2」、「公衆栄養学臨地実習」、「給食経営管理臨地実習」のうち3単位以上を修得しなければなりません。実習施設は医療機関、福祉施設、事業所、小学校、保健所、保健センターなどです。

臨地実習(「給食の運営」を除く)の履修には、原則として1～2年次の管理栄養士国家試験受験資格取得に必要なすべての専門科目の単位修得が必要です。ただし、単位未修得科目が3科目以内の場合は試験を行い、教授会の審議を経て臨地実習の履修を認める場合があります。「公衆栄養学臨地実習」の履修には「公衆衛生学」「公衆衛生学実験」「公衆栄養学1」「公衆栄養学2」の単位修得が必要です。また、臨地実習を履修するためには、それに必要な諸経費を所定の期間内に納める必要があります。

実習中は実習施設の指導者の指示にしたがって実習を行います。

栄養士免許証取得に必要な専門科目

栄養士法施行規則に定める科目区分		本学における開設科目	単位数	配当学年
必修科目	社会生活と健康	公衆衛生学	2	1年
		社会福祉概論	2	2年
	人体の構造と機能	解剖生理学1	2	1年
		解剖生理学2	2	1年
		解剖生理学実験	1	2年
		構造生化学	2	1年
		生化学実験	1	2年
		病態と治療の基礎	2	2年
	食品と衛生	食品学1	2	1年
		食品学2(食品加工学を含む)	2	1年
		食品学実験1	1	1年
		食品衛生学(微生物学を含む)	2	2年
		食品衛生学実験	1	3年
	栄養と健康	基礎栄養学	2	1年
		基礎栄養学実験	1	1年
		応用栄養学1	2	2年
		応用栄養学2	2	2年
		応用栄養学実習	1	2年
		臨床栄養学1	2	2年
		臨床栄養学2	2	2年
		臨床栄養学実習	1	2年
	栄養の指導	栄養教育論	2	2年
		栄養カウンセリング論	2	3年
栄養教育実習		1	2年	
公衆栄養学1		2	2年	
給食の運営	調理学	2	1年	
	調理学実習1	1	1年	
	調理学実習2	1	1年	
	調理科学実験	1	3年	
	給食経営管理論	2	2年	
	給食経営管理基礎実習	1	2年	
	給食経営管理応用実習	1	3年	
	給食の運営	1	3年	
	合 計		33科目	52単位

管理栄養士国家試験受験資格を取得するために必要な専門科目

栄養士法施行規則に定める科目区分		本学における開設科目	単位数	配当学年
必修科目	社会・環境と健康	健康管理概論	2	1年
		公衆衛生学	2	1年
		公衆衛生学実験	1	2年
		社会福祉概論	2	2年
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学1	2	1年
		解剖生理学2	2	1年
		解剖生理学実験	1	2年
		構造生化学	2	1年
		代謝生化学	2	2年
		生化学実験	1	2年
		運動生理学	2	3年
		運動生理学実験	1	3年
		病態と治療の基礎	2	2年
		病態と治療(疾病論)1	2	3年
		病態と治療(疾病論)2	2	3年
		食べ物と健康	食品学1	2
	食品学2(食品加工学を含む)		2	1年
	食品学実験1		1	1年
	食品学実験2		1	3年
	食品衛生学(微生物学を含む)		2	2年
	食品衛生学実験		1	3年
	調理学		2	1年
	調理学実習1		1	1年
	調理学実習2		1	1年
	調理科学実験		1	3年
基礎栄養学	基礎栄養学	2	1年	
	基礎栄養学実験	1	1年	
応用栄養学	応用栄養学1	2	2年	
	応用栄養学2	2	2年	
	応用栄養学3	2	3年	
	応用栄養学実習	1	2年	
栄養教育論	健康行動科学	2	1年	
	栄養教育論	2	2年	
	栄養カウンセリング論	2	3年	
	栄養教育実習	1	2年	
臨床栄養学	臨床栄養学1	2	2年	
	臨床栄養学2	2	2年	
	臨床栄養学3	2	3年	
	臨床栄養管理学	2	3年	
	臨床栄養学実習	1	2年	
	栄養ケアプロセス実習	1	3年	
公衆栄養学	公衆栄養学1	2	2年	
	公衆栄養学2	2	2年	
	公衆栄養学実習	1	3年	
給食経営管理論	給食経営管理論	2	2年	
	フードマーケティング論	2	3年	
	給食経営管理基礎実習	1	2年	
	給食経営管理応用実習	1	3年	
	食事管理計画演習	1	1年	
総合演習	臨地実習事前事後演習1	1	2年	
	臨地実習事前事後演習2	1	3年	
	健康栄養学総合演習	1	4年	
臨地実習	給食の運営	1	3年	
	臨床栄養学臨地実習1	1	3年	
	臨床栄養学臨地実習2	1	3年	
	公衆栄養学臨地実習	1	3年	
	給食経営管理臨地実習	1	3年	
合 計		56科目	86単位	

(3)食品衛生監視員および食品衛生管理者

健康栄養学科においては、食品衛生監視員および食品衛生管理者の任用資格が得られます。そのためには、下記の「食品衛生監視員および食品衛生管理者の任用資格を得るために必要な科目」について、40 単位全てを修得しなければなりません。

食品衛生監視員および食品衛生管理者の任用資格を得るために必要な科目

養成施設指定科目区分	本 学 に お け る 開 設 科 目	単位数	配当学年
A 群：化 学 関 係	基 礎 化 学（有機化学を含む）	2	1 年
B 群：生 物 化 学 関 係	構造生化学	2	1 年
	生化学実験	1	2 年
	解剖生理学1	2	1 年
	解剖生理学2	2	1 年
	解剖生理学実験	1	2 年
	食品学1	2	1 年
	食品学2（食品加工学を含む）	2	1 年
	食品学実験1	1	1 年
C 群：微 生 物 学 関 係	食品衛生学（微生物学を含む）	2	2 年
	食品衛生学実験	1	3 年
D 群：公衆衛生学関係	公衆衛生学	2	1 年
	給食経営管理論	2	2 年
	給食経営管理基礎実習	1	2 年
E 群：その他の関連科目	基礎栄養学	2	1 年
	応用栄養学1	2	2 年
	応用栄養学2	2	2 年
	臨床栄養学1	2	2 年
	臨床栄養学2	2	2 年
	公衆栄養学1	2	2 年
	健康管理概論	2	1 年
	調 理 学	2	1 年
	調理学実習1	1	1 年
合 計	23 科目	40 単位	

履修モデル(管理栄養士国家試験受験資格取得)

			1年次				2年次					
			前 期		後 期		前 期		後 期			
全学共通科目	人間形成科目		○建学のころ※	1								
	一般教育科目		○初年次セミナー	2								
			一般科学	2					日本国憲法	2		
	芸術科目											
	情報・表現科目		情報処理演習1	1	情報処理演習2	1						
	体育・健康科目		スポーツ1	1	スポーツ2	1						
	外国語科目		○Basic English 1	1	○Basic English 2	1	Advanced English1	1	Advanced English2	1		
			○総合英語A-1	1	○総合英語A-2	1	総合英語B-1	1	総合英語B-2	1		
健康栄養学科専門科目	基礎関連科目 (学部共通科目)		○健康科学概論	2								
			○基礎化学(有機化学を含む)	2	基礎生物学	2						
			情報処理概論	2								
	学科基礎科目		栄養の基礎化学演習	1								
			栄養の基礎生物学演習	1								
			○健康栄養学基礎実験	1								
	社会・環境と健康		○健康管理概論	2	○公衆衛生学	2	公衆衛生学実験	1	社会福祉概論	2		
	人体の構造と機能及び 疾病の成り立ち		○解剖生理学1	2	○解剖生理学2	2	○解剖生理学実験	1				
					○構造生化学	2	代謝生化学	2				
							○生化学実験	1	○病態と治療の基礎	2		
	食べ物と健康		○食品学1	2	○食品学2(食品加工学を含む)	2			○食品衛生学(微生物学を含む)	2		
			○調理学	2	○食品学実験1	1						
			○調理学実習1	1	○調理学実習2	1						
	基礎栄養学				○基礎栄養学	2						
					基礎栄養学実験	1						
	応用栄養学						○応用栄養学1	2	○応用栄養学2	2		
									応用栄養学実習	1		
	栄養教育論				健康行動科学	2	○栄養教育論	2	栄養教育実習	1		
	臨床栄養学						○臨床栄養学1	2	○臨床栄養学2	2		
							○臨床栄養学実習	1				
	公衆栄養学						○公衆栄養学1	2	公衆栄養学2	2		
	給食経営管理論				食事管理計画演習	1			○給食経営管理論	2		
									○給食経営管理基礎実習	1		
	総合演習								臨地実習事前事後演習1	1		
	発展・応用科目		健康科学									
	口腔と健康				口腔健康科学・技術演習	1			口腔機能障害学	1		
	グローバル コミュニケーション						健康栄養のための英語基礎演習	1	健康栄養のための英語応用演習	1		
									国際健康栄養演習(海外研修)	2		
	栄養教諭											
	総合科目											
	卒業研究											
	卒業演習											
	学部・学科間 連携科目	看護										
		リハビリテーション										
	取得単位数		27		23		17		26			
	上限単位数		49				48					

※建学のころ1単位は上限単位数から除外

[illegible]

履修の手引き

2025 年 4 月発行

発行: 名古屋葵大学 学生支援センター教学支援部門

〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町 3-40

TEL:052-852-9295 FAX:052-852-1173

<https://www.nagoya-aoi.ac.jp/>